



令和4年度（令和3年度対象）

羅臼町教育行政の点検・評価
報告書

羅臼町教育委員会

目 次

第1章	はじめに	1
1	目 的	
2	評価の方法	
3	羅臼町教育委員会外部評価委員会	
第2章	羅臼町教育委員会の活動状況	2~7
1	令和3年度教育委員会の開催	
2	教育委員の研修及び活動状況	
3	条例・規則等の制定、計画等の策定状況	
第3章	教育委員会の組織	8~12
1	機構	
2	事務分掌	
第4章	学校等設置状況	13~14
1	学校等一覧	
2	在校児童・生徒数及び学級数	
3	教員数	
第5章	教育費執行状況	15
第6章	教育行政執行方針	16~35
第7章	令和3年度の取り組みの概要と評価	36~94
1	取組み概要と評価	
2	学校教育に係わるその他の取り組み	
3	教育団体等に対する補助金	
第8章	所管施設の利用状況	95
第9章	関係規定	96~98

第1章 はじめに

1 目的

この報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき教育行政事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たすため、学識経験者の意見を付して議会に提出し公表することを目的としています。

2 評価の方法

令和3年度に教育委員会が取り組んだ学校教育及び社会教育に関する主要な施策について現状や背景を踏まえ、内部評価を行った上で実績を明らかにした結果を、次のとおりまとめたものです。

- A：当初目的を超える成果
- B：概ね達成できた
- C：目標に至っていない

3 羅臼町教育委員会外部評価委員会

羅臼町教育行政点検・評価にあたっては、各委員により幼稚園、小中学校の現状について各園・各学校の授業参観や管理職の説明を受け状況を把握するほか、教育行政が行った主要な各事業については、各事業の点検評価内容を直接担当課より説明を行うなどしながら、次の4名の各委員から具体的な意見などをいただく。

氏名	職業	備考
境 智 洋	教育大学釧路校教授	地域学校教育
宮 前 耕 史	教育大学釧路校准教授	地域文化研究室
大 口 茂		元羅臼町社会教育委員
山 本 啓 治		元教員

尚、委員の任期は令和4年4月1日から令和6年3月31日までとなっています。

第2章 羅臼町教育委員会の活動状況

1 令和3年度教育委員会の開催

羅臼町教育委員会は、毎月1回の定例会と総合教育会議を必要に応じて開催し、教育課題に対する協議を行いました。

会議の開催状況は次の通りです。

開 催 日	付 議 案 件
令和3年4月20日 第4回定例会	<p>【報告事項】</p> <p>報告第10号 諸会議・諸事業について</p> <p>報告第11号 羅臼町中高一貫教育推進協議会設置要綱の一部改正について</p> <p>報告第12号 羅臼町立学校学校評議員設置要綱を廃止する要綱について</p> <p>【協議事項】</p> <p>議案第9号 羅臼町立学校管理規則の一部改正について</p>
令和3年5月26日 第5回定例会	<p>【報告事項】</p> <p>報告第13号 諸会議・諸行事について</p> <p>報告第14号 令和2年度教育関連補正予算について</p> <p>【協議事項】</p> <p>議案第10号 羅臼町営体育施設等設置条例の一部改正について</p>
令和3年6月30日 第6回定例会	<p>【報告事項】</p> <p>報告第15号 諸会議・諸行事について</p> <p>報告第16号 令和4年度北海道羅臼高等学校への支援について</p>
令和3年7月24日 第7回定例会	<p>【報告事項】</p> <p>報告第17号 諸会議・諸行事について</p> <p>報告第18号 羅臼町通学路交通安全プログラム策定について</p> <p>報告第19号 羅臼町立学校職員ストレスチェック制度実施規程について</p> <p>報告第20号 令和2年度 特別の教育課程の実施状況等について</p>
令和3年8月30日 第8回定例会	<p>【報告事項】</p> <p>報告第21号 諸会議・諸行事について</p> <p>報告第22号 令和3年度教育関連補正予算について</p>

<p>令和3年9月29日 第9回定例会</p>	<p>【報告事項】 報告第23号 諸会議・諸行事について</p> <p>【協議事項】 議案第11号 令和3年度 全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について</p>
<p>令和3年10月27日 第10回定例会</p>	<p>【報告事項】 報告第24号 諸会議・諸行事について 報告第25号 羅臼町指定文化財（天然記念物）への指定について</p>
<p>令和3年11月24日 第11回定例会</p>	<p>【報告事項】 報告第26号 諸会議・諸行事について 報告第27号 令和3年度教育関連補正予算について 報告第28号 令和3年度（令和2年度対象）羅臼町教育行政の点検・評価報告書の策定について 報告第29号 令和5年以降羅臼町成人式のあり方について</p> <p>その他 ・令和3年度冬季学校閉庁日について</p>
<p>令和3年12月27日 第12回定例会</p>	<p>【報告事項】 報告第30号 教育委員の任命について</p> <p>【協議事項】 議案第12号 令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果公表について 議案第13号 令和3年度羅臼町児童・生徒表彰について</p>
<p>令和4年 1月26日 第1回定例会</p>	<p>【報告事項】 報告第1号 諸会議・諸行事について 報告第2号 令和3年第12回教育委員会「議事録の確定」について 報告第3号 令和4年度教育行政執行方針について</p> <p>【協議事項】 議案第1号 羅臼町教育委員会会議規則の全部改正について 議案第2号 羅臼町教育委員会傍聴人規則の全部改正について 議案第3号 羅臼町立学校の教職員の時間外在校等時間の公表について 議案第4号 羅臼町児童・生徒表彰に関する規則の一部改正について</p> <p>・その他 主幹通信について</p>

<p>令和4年2月22日 第2回定例会</p>	<p>【報告事項】 報告第4号 諸会議・諸行事について</p> <p>【協議事項】 議案第5号 第2期 羅臼町アクション・プランについて 議案第6号 令和3年度一般会計予算補正について 議案第7号 羅臼町教育委員会教育長の辞職について 議案第8号 令和3年度 準要保護児童・生徒の認定について</p> <p>・その他 主幹通信について</p>
<p>令和4年3月23日 第3回定例会</p>	<p>【報告事項】 報告第 5号 諸会議・諸行事について</p> <p>【協議事項】 議案第 9号 羅臼町指定文化財（天然記念物）指定について 議案第10号 令和4年度準用保護児童・生徒の認定について</p> <p>その他 ・主幹通信について</p>

- i 開催回数：定例会…12回 / 臨時会…0回
ii 審議事項：報告案件25件 / 協議案件14件

2 教育委員の研修及び活動の状況

① 学校行事に関する事項

学校名（幼稚園名）	行事名	日時
羅臼幼稚園	入園式	4月 9日（金）
春松幼稚園	入園式	4月 9日（金）
羅臼小学校	入学式	4月 7日（水）
春松小学校	入学式	4月 7日（水）
知床未来中学校	入学式	4月 6日（火）
羅臼高等学校	入学式	4月 8日（木）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により出席要請なし。

② 社会教育・公民館・郷土資料館に関する事項

i 社会教育委員の会兼図書館協議会

開催日	協議事項
令和3年4月28日 ※参加人数 12名	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度社会教育事業計画について 令和3年度社会教育予算について 令和3年度社会教育関係団体補助金について 令和3年度社会教育関係各種研修会の日程について
令和3年12月13日 ※参加人数 9名	<ul style="list-style-type: none"> 羅臼町児童・生徒表彰について 令和3年度羅臼町社会教育事業推進状況について 令和3年度根室管内社会教育委員連絡協議会 第1回役員会について 令和3年度北海道社会貢献賞の受賞について
令和4年3月18日 ※参加人数 10名	<ul style="list-style-type: none"> 知床スミレ・エコプロジェクト「北海道男女平等参画チャレンジ賞」の受賞について 羅臼町図書館の移転及び羅臼町図書館基本構想策定に向けた検討協議について 令和3年度羅臼町社会教育関係事業反省評価について

※第3回目の会議については、社会教育委員の会兼図書館協議会とスポーツ推進委員会が合同で行われたものである。

ii スポーツ推進委員会

開催日	協議事項
令和3年4月19日 ※参加人数 6名	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度社会教育事業計画単年度計画について 第8次羅臼町社会教育中期計画について 令和3年度羅臼町社会体育予算について 令和3年度社会体育関係団体補助金について 令和3年度各種総会・研修会等の日程について 町内社会体育施設開放状況について
令和4年1月13日 ※参加人数 4名	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度スポーツ推進委員事業について 令和3年度北海道スポーツ推進委員協議会役員会について 令和3年度根室管内スポーツ推進委員協議会役員会について 令和3年度各種研修会等の実施状況について
令和4年3月18日 ※参加人数 10名	<ul style="list-style-type: none"> 知床スミレ・エコプロジェクト「北海道男女平等参画チャレンジ賞」の受賞について 羅臼町図書館の移転及び羅臼町図書館基本構想策定に向けた検討協議について 令和3年度羅臼町社会教育関係事業反省評価について

※第3回目の会議については、社会教育委員の会兼図書館協議会とスポーツ推進委員会が合同で行われたものである。

iii 文化財保護調査委員会

開催日	協 議 事 項
令和3年7月11日 ※参加人数 6名	【報告事項】 ・令和3年度文化財調査費について ・サクライラウスシロカサゴの寄贈及び新種記載について 【協議事項】 ・令和3年度文化財保護事業計画について
令和3年11月12日 ※参加人数 6名	【報告事項】 ・令和3年度4～10月までに実施した事業について 【協議事項】 ・羅臼町文化財（天然記念物）の指定について
令和4年2月8日 ※参加人数 7名	【協議事項】 ・羅臼町文化財（天然記念物）の指定について ※新型コロナウイルス感染症対策のため書面会議
令和4年3月4日 ※参加人数 6名	【報告事項】 ・令和3年度11～3月までに実施した事業について 【協議事項】 ・羅臼町文化財（天然記念物）の指定について

③ その他

i 教育委員の幼稚園・学校訪問

- ・開催日 令和3年10月 4日（月）
- ・出席者 和田教育長、萬屋委員、田中委員、葛西委員、芦崎委員

3 条例・規則等の制定、計画等の策定状況

議案番号	条例・規則等の制定、計画等名	担当課
【令和3年】		
報告第 2号	令和3年度教育行政執行方針について	学務課
報告第 5号	羅臼町通学路安全推進会議設置要綱新設について	学務課
議案第 4号	羅臼町いじめ防止基本方針について	学務課
議案第 5号	羅臼町立幼稚園規則の一部改正について	学務課
議案第 6号	羅臼町立幼稚園通園指定の変更に関する取扱要綱の新設について	学務課
報告第 9号	第2期羅臼町子どもの読書活動推進計画の策定について	公民館
議案第 8号	羅臼町立学校管理規則の一部改正について	学務課
報告第11号	羅臼町中高一貫教育推進協議会設置要綱の一部改正について	学務課
報告第12号	羅臼町立学校学校評議員設置要綱を廃止する要綱について	学務課
議案第 9号	羅臼町立学校管理規則の一部改正について	学務課
議案第10号	羅臼町営体育施設等設置条例の一部改正について	社会教育課
報告第18号	羅臼町通学路交通安全プログラム策定について	学務課
報告第19号	羅臼町立学校職員ストレスチェック制度実施規程について	学務課
報告第28号	令和3年度（令和2年度対象）羅臼町教育行政の点検・評価報告書の策定について	学務課

第3章 教育委員会の組織

1 機構

ア 教育委員会委員

(令和3年10月1日現在)

職名	氏名	就任年月日	任期
教育長	和田 宏一	令和元年10月1日	令和元年10月1日から 令和4年3月31日まで
委員 (教育長職務代理者)	萬屋 志都子	平成18年1月1日	令和元年10月1日から 令和5年9月30日まで
委員	田中 紅美子	平成21年6月1日	平成30年1月25日から 令和4年1月24日まで
委員	葛西 良浩	平成28年10月1日	令和2年10月1日から 令和6年9月30日まで
委員	芦崎 拓也	平成30年10月1日	平成30年10月1日から 令和4年9月30日まで
委員	佐々木 美穂	令和4年1月25日	令和4年1月25日から 令和8年1月24日まで

イ 教育委員会分掌配置

区分	所属	職員数	その他職員	合計
事務局	教育指導主幹		1人	1人
	特別支援教育主幹		1人(1人)	1人(1人)
	学務課	7人(2人)		7人(2人)
	社会教育課	7人(7人)		7人(7人)
	図書館	3人(2人)		3人(2人)
	郷土資料館	2人(1人)		2人(1人)
	学校給食センター	4人(3人)		4人(3人)
幼稚園	羅臼幼稚園	8人	1人	9人
	春松幼稚園	8人	2人	10人
合計		39人(15人)	5人(1人)	44人(16人)

() は、職員数のうち他の職と兼(併)任している職員数

2 事務分掌

【主幹】

（教育指導主幹）

- (1) 学校及び幼稚園運営に関する専門的事項の指導助言に関すること。
- (2) 学校教育における生徒指導などの教育相談に関すること。
- (3) 社会教育にかかわる専門的事項に関すること。
- (4) 生涯学習推進のための啓発に関すること。
- (5) 研修及び調査研究に関すること。

【学務課】

（総務管理係）

- (1) 教育委員会の会議に関すること。
- (2) 教育費予算編成並びに予算執行の総括に関すること。
- (3) 交際及び儀式（成人式を除く。）に関すること。
- (4) 請願及び要望に関すること。
- (5) 公文書物品の発受並びに保管に関すること。
- (6) 法規関係の整備に関すること。
- (7) 公示及び令達に関すること。
- (8) 公印の保管に関すること。
- (9) 町長部局及び議会事務局との連絡に関すること。
- (10) 条例及び教育委員会規則、規程等の制定又は改廃の総括に関すること。
- (11) 褒章、表彰に関すること。
- (12) 事務局及び施設職員の人事、給与に関すること。
- (13) 学校、その他教育施設の設置及び廃止に関すること。
- (14) 学校等経理事務及び指導に関すること。
- (15) 学務課所管にかかわる経理事務に関すること。
- (16) 他課、係の分掌に定める以外の教育調査及び統計に関すること。
- (17) 奨学資金等に関すること。
- (18) 町職員及び教職員の組合に関すること。
- (19) 教育事務の総合調整に関すること。
- (20) 教育委員会事務局職員及び教職員のレクリエーション、互助会等に関すること。
- (21) 教職員の健康管理に関すること。
- (22) 学校、教職員住宅及び教育施設の新、増、改築等の計画に関すること。
- (23) 文教施設整備の調査及び申請に関すること。
- (24) 学校、その他教育施設及び教職員住宅の用地調査、管理、営繕に関すること。
- (25) 学校適正配置計画に関すること。
- (26) 学校給食センターの管理運営に関すること。
- (27) その他、他係に属さない事項

(学校教育係)

- (1) 学校及び幼稚園の管理運営に関すること。
- (2) 教育課程の編成指導及び諸報告、届出の取扱いに関すること。
- (3) 学令簿及び学級編成に関すること。
- (4) 通学、通園区域に関すること。
- (5) 教科書及びその他教材の取扱いに関すること。
- (6) 教材、備品等の整備充実に関すること。
- (7) 学校及び幼稚園施設の利用に関すること(学校開放事業は除く。)
- (8) 学校教育にかかわる調査及び統計に関すること。
- (9) 教職員の人事、服務及び給与に関すること。
- (10) 教職員の研修及び研究指定校に関すること。
- (11) 教職員の免許状及び資格向上に関すること。
- (12) 中高一貫教育推進に関すること。
- (13) 園児、児童、生徒の就学(園)及び入退学(園)に関すること。
- (14) 保護家庭児童生徒の援助に関すること。
- (15) 園児、児童、生徒の通学援助に関すること。
- (16) 園児、児童、生徒の事故報告に関すること。
- (17) 学校及び幼稚園の保健全般に関すること。
- (18) 学校行事審議会に関すること。
- (19) その他一般的学校教育に関すること。

【社会教育課】

(社会教育係)

- (1) 社会教育委員及び会議に関すること。
- (2) 社会教育計画に関すること。
- (3) 他係に属さない各種委員会等に関すること。
- (4) 社会教育施設の設置及び管理運営に関すること。
- (5) 成人式に関すること。
- (6) 幼児及び少年教育、家庭教育に関すること。
- (7) 青年及び成人教育、女性教育に関すること。
- (8) 高齢者教育に関すること。
- (9) 社会教育関係団体の育成指導に関すること。
- (10) 文字・活字文化振興に関すること。
- (11) 芸術、文化活動の助長、促進に関すること。
- (12) 社会教育関係の一般的経理事務に関すること。
- (13) その他一般的社会教育に関すること。

(社会教育指導班)

- (1) 生涯学習推進にかかわる調査、研究、指導助言に関する事。
- (2) 社会教育、公民館、社会体育事業にかかわる指導助言、総合調整に関する事。
- (3) 社会教育推進のための調査、研究、計画に関する事。
- (4) 他機関及び社会教育関係機関と連携する事業等にかかわる指導助言に関する事。
- (5) 青少年非行防止の指導相談に関する事。
- (6) 青少年健全育成にかかわる相談事業に関する事。
- (7) 各種関係資料の収集及び情報提供に関する事。

(社会教育相談員)

- (1) 学習相談窓口の設置、対応に関する事。
- (2) 学校週5日制に関する事。
- (3) 生涯学習推進のための情報提供及び地域の情報収集に関する事。
- (4) 各種社会教育事業に関する指導助言
- (5) 各種社会教育関係機関、団体の育成、指導に関する事。

(スポーツ振興係)

- (1) 社会体育振興計画に関する事。
- (2) 町民体育、スポーツの普及振興及び指導に関する事。
- (3) 社会体育団体の育成指導に関する事。
- (4) スポーツ推進委員及びスポーツ指導員に関する事。
- (5) 学校体育関係事業に関する事。
- (6) 体育館の管理及び運営に関する事。
- (7) 社会体育関係一般的経理事務に関する事。
- (8) スポーツ傷害保険に関する事。
- (9) その他体育振興に関する事。

【図書館】

(図書係)

- (1) 図書館活動の計画作成に関する事。
- (2) 図書及び資料の収集と保存に関する事。
- (3) 図書及び資料の除籍及び蔵書に関する事。
- (4) 図書館事業の企画立案及び実施に関する事。
- (5) 各種団体、機関等の連絡・連携に関する事。
- (6) 図書館協議会に関する事。
- (7) 図書館施設・設備の管理運営に関する事。

【郷土資料館】

(文化財保護係)

- (1) 文化財保護及び調査に関すること。
- (2) 銃砲刀剣類の登録に関すること。
- (3) 文化財保護調査委員に関すること。
- (4) 天然記念物指定鳥類保護監視員に関すること。
- (5) 郷土資料館の管理運営に関すること。

第4章 学校等設置状況

(1) 学校等一覧

あ) 小学校

学 校 名	校 長	教 頭	開校年月日	へき地指定
羅臼小学校	西 田 威 嗣	佐 藤 英 雄	明治26年 6月12日	2級
春松小学校	藤 吉 桂 子	瀬 川 航 平	明治33年11月 2日	2級

い) 中学校

学 校 名	校 長	教 頭	開校年月日	へき地指定
知床未来中学校	滝 泰 英	田 中 陽 一	平成30年 4月 1日	2級

う) 高等学校

学 校 名	校 長	教 頭	開校年月日	へき地指定
羅臼高等学校	三 浦 治 彦	嶽 山 敏 嗣	昭和50年 4月 1日	2級

え) 幼稚園

園 名	園 長	副 園 長	開校年月日	へき地指定
羅臼幼稚園	官 代 眞由美	藤 本 郁 美	平成19年 4月 1日	2級
春松幼稚園	高 原 美 樹	田 中 寿 子	平成19年 4月 1日	2級

(2) 在校児童・生徒数及び学級数

区分		児童生徒数						学級数			
		1年生 (年少)	2年生 (年中)	3年生 (年長)	4年生	5年生	6年生	計	普通	特別 支援	計
小学校	羅臼小学校	22	11	23	30	25	16	127	6	4	10
	春松小学校	9	17	15	18	14	14	87	6	4	10
	小 計	31	28	38	48	39	30	214	12	8	20
中学校	知床未来 中学校	38	41	35				114	4	3	7
高等学校	羅 臼 高等学校	7	39	32				78	3	—	3
幼稚園	羅臼幼稚園	14	16	17				47	3	—	3
	春松幼稚園	15	16	9				40	3	—	3
	小 計	29	32	26				87		—	

(3) 教員数

区分		校長 園長	教頭 副園長	教諭		養護 教諭	事務 職員	栄養 教諭	公務補	計	備考
				普通	特別 支援						
小学校	羅臼小学校	1	1	9	6	1	1	1	1	21	
	春松小学校	1	1	8	5	1	1		1	18	
	小 計	2	2	17	11	2	2	1	2	39	
中学校	知床未来 中学校	1	1	9	2	1	2		1	17	
高等学校	羅 臼 高等学校	1	1	13		1	3		1	20	
幼稚園	羅臼幼稚園	1	1	6						8	
	春松幼稚園	1	1	7						9	
	小 計	2	2	13						17	

第5章 教育費執行状況

令和3年度予算執行状況については、教育費予算額8億1,023万9,000円に対し、支出済額は7億8,806万0,975円（執行率97,3%）で、不用額は、2,217万8,025円となりました。また、各項別の支出額と教育費の支出額に占める割合は次のとおりです。

款	項	予算額	支出額	割合(%)
教育費		810,239,000円	788,060,975円	100.0%
	1. 教育総務費	71,980,000円	65,482,024円	8.9%
	2. 小学校費	102,004,000円	100,560,480円	12.6%
	3. 中学校費	24,156,000円	22,962,985円	3.0%
	4. 幼稚園費	41,299,000円	40,893,021円	5.1%
	5. 社会教育費	28,795,000円	26,135,255円	3.5%
	6. 保健体育費	542,005,000円	532,027,210円	66.9%

令和3年度
教育行政執行方針



魚の城下町らうす



持続可能な未来へ
羅臼町教育委員会

目 次

1. はじめに	18
2. 羅臼町における教育行政推進の基本姿勢	20
3. 主要施策の推進	
(1) 社会で生きる力の育成	21
(2) 羅臼町の未来を拓く人材の育成	27
(3) 生涯学習や芸術文化・スポーツの振興	30
4. おわりに	35

令和3年度教育行政執行方針

教育長 和田 宏 一

1. はじめに

令和3年羅臼町議会第1回定例会の開催にあたり、教育行政の基本姿勢および主要な施策について申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大など、先行きが不透明で「予測困難な時代」の中、情報化やグローバル化が一層進展し、多様な事象が複雑化を増してきています。

このような時代にあって、学校教育では一人ひとりの児童・生徒が自分の良さや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会づくりの担い手となることが求められています。

この先、当町が持続的に成長・発展していくためには、人口減少やグローバル化に的確に対応しながら変化を先取りした改革を進め、SDGs 17の目標を念頭にその実現に向けた取り組みが急務であり、豊かな語学力やコミュニケーション能力、主体性・積極性、異文化理解の精神等を身に付け、様々な分野で活躍できる人材の育成が重要です。

豊かな自然環境や歴史・文化のもとで、子ども達がふるさとへの誇りと愛着を持ち、共に支え合い、自らの感性や創造性を磨き、無限の可能性を発揮する逞しい人材へと成長していくことができるよう、町民の皆様と共に「羅臼町教育大綱」を共有し、様々な分野について広く緊密な連携を図りながら、教育の充実・発展に取り組んでまいります。

2. 羅臼町における教育行政推進の基本姿勢

こうした認識のもと、教育行政に望む基本姿勢を申し上げます。

当町の教育目標である「ふるさと羅臼の躍進を創造し、いきいきと逞しく行動する心豊かな町民の育成」の実現に向け、羅臼町教育大綱で示されている「社会で生きる力の育成」、「羅臼町の未来を拓く人材の育成」、「生涯学習や芸術文化・スポーツの振興」の3項目を柱とし、SDGsの目標実現を念頭にした取り組みを推進致します。

また、誰一人取り残すことなく、全ての子ども達一人ひとりが質の高い個別最適な学びと協働的な学びを受けることができるよう、学力・体力の向上をはじめとする教育施策を充実してまいります。

更に、当町が将来にわたり持続的に輝き続けていくため、学校教育を通してよりよい社会を創るという理念のもと、地域の活力を支える教育行政を推進してまいります。

3. 主要施策の推進

次に、主要な施策の概要を申し上げます。

(1) 社会で生きる力の育成



はじめに、「社会で生きる力の育成」についてであります。

当町の幼小中高一貫教育は、平成24年に発足し、10年目を迎えます。

現在、幼稚園2園、小学校2校、中学校1校、高校1校となり、一貫した教育の中で、子ども達に確かな学力を育むためには、より緊密に幼小中高の連携が必要です。

そのため小中学校においては、授業の目指す方向の研究主題を統一し、各園・学校ごとの公開授業を実施することにより、授業の検証の充実を図ります。

また、教師個々の授業力を高めることが学力向上に直結致します。

教員の求める研修項目の充実や校内研修、幼小中高による合同研修会や、道立教育研究所と連携した研修講座などへ、主体的に参加する体制づくりに

努めます。

更に、新学習指導要領に沿った主体的・対話的で深い学びの学習を推進し、昨年度に策定した「羅臼町学力向上プラン」を推し進め、子ども達が自ら学び、自ら考える授業で一人ひとりに確かな学力の定着を図り、SDGsの4番目の目標である「質の高い教育をみんなに」を目指します。

「健やかな体を育む教育」に関し、小学校において実施した体育専科及び体育エキスパート教員巡回指導事業では、指導法の改善や児童の体力向上に一定の成果がありました。

昨年度の指導方法等を継続し、体育授業を実施し一層の体力向上に向けた取り組みを実践してまいります。

また、成長期の児童生徒にあっては、バランスのとれた食事をする事により、体全体の能力が十分に発揮されます。

そのために、小中学校において栄養教諭を活用した継続的な食育指導を行い、食に関する知識とバランスの良い健全な食生活を実践できる力を育み、「3 すべての人に健康と福祉を」、「4 質の高い教育をみんなに」を目指します。

昨年度、いじめ防止等の対策を総合的かつ効果的に推進するため、「羅臼町いじめ防止基本方針」を策定致しました。

いじめを受けた児童生徒の生命及び心身を保護することが最も重要であ

ることを認識しつつ、すべての児童生徒をいじめに向かわせないとする未然防止の取り組みを、学校・家庭・地域、その他関係者相互の連携協力のもと、地域全体で取り組むこととし、「5 ジェンダー平等を実現しよう」を目指します。

幼児教育は、子ども達の生涯にわたる学びと資質・能力の向上に寄与する重要なものであり、幼稚園での活動全体を通して、幼稚園教育要領で定める「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」への育みを実現させる質の高い教育を提供できるよう関係機関と連携し、教員の研修の充実を図ります。

また、外国語活動を年長児から年少児までのすべてで実施し、園児が英語に楽しく触れる活動を実践致します。

小学校生活への不安を軽減させる「スタートカリキュラム」では、その検証を不断に行い、幼稚園から小学校への連続した学びに努め、「4 質の高い教育をみんなに」を目指します。

特別な支援を必要とする園児及び児童生徒については、その能力や可能性を最大限に伸ばし、自立し社会参加するために必要な力を培うため、一人ひとりの障がいの状態などに応じ、きめ細かな教育を行う必要があります。

そのため、個別の支援計画「こんぱす」の活用を促進するとともに、より一人ひとりのニーズに沿った学習とするための指導計画を作成し、当該児童

生徒の指導に携わるすべての関係者で情報共有を密に行い、個に応じた適切な指導を行ってまいります。

また、専門的な知識をもって指導できるよう、指導者への研修機会の充実を図ることで、「3 すべての人に健康と福祉を」、「4 質の高い教育をみんなに」の実現を目指します。

当町では、持続可能な社会づくりの担い手を育む教育を推進するため、町内の幼小中高全ての学校をユネスコスクールに登録し、海の豊かさや陸の豊かさを守る取り組みの達成に向け知床学として「クマ学習」や「海洋教育」などに取り組んできております。

本年度は、「E S D（持続可能な開発のための教育）」を各種事業や取り組みの基底に据えたグランドデザインを明確にし、学校教育と社会教育の連携と認識の共有を強めていきます。

E S Dを推進してきた当町にとっては、S D G s という具体的ゴールに向かい、これらの理解を深めるため、また、「ふるさと教育」の充実のためにも教職員の研修機会と町民に対する情報発信を推進し、「1 1 住み続けられるまちづくりを」の実現を目指します。

キャリア教育につきましては、望ましい勤労観や職業観を育むための必要不可欠な取り組みであります。

当町の基幹産業である水産業をはじめ、酪農や観光業、食品加工業など多種多様な職業体験の場の確保に努め、児童生徒の将来の職業選択の幅を広げさせることにより、「8 働きがいも経済成長も」の実現を目指します。

昨年度、社会に開かれた教育課程の実現に向け設立致しました「羅臼町学校運営協議会」（コミュニティースクール）は、学校・家庭・地域が学校運営について話し合い、共に知恵を出し、子ども達を育てていく地域とともにある学校づくりを目指すものです。

事業推進のため配置した、学校・家庭・地域をつなぐ地域コーディネーターの活動が活発にできるよう緊密な連絡体制、情報共有や研修機会の充実を図り、学校・家庭・地域のニーズに応じた取り組みを進めることにより、「4 質の高い教育をみんなに」、「1 1 住み続けられるまちづくりを」の実現を目指します。

子ども達の健やかな発達には、家庭での教育が大切です。

近年、家庭での子ども達の生活スタイルは大きく変化し、SNS利用や生活習慣に起因する様々な課題が浮き彫りとなっており、家庭学習や読書といった時間の使い方にも影響がみられます。

家庭教育の充実を図るため、保護者を対象とした研修会の開催や子育て講演会、生活習慣の定着に向けた学習機会の提供や啓発等を実施し、子どもの

健やかな成長と自律、親力の向上への取り組みを進め、「3 すべての人に健康と福祉を」の充実を図ります。

様々な状況下であっても、「学びを止めない」教育環境の実現のため、昨年度すべての小中学校でICTを活用できる環境を整備致しました。

新学習指導要領では、子ども達の学習活動を充実させるためには、ICTの特性や利点を十分理解し、主体的・対話的で深い学びの視点から、授業改善につなげることが期待されています。

指導方法や指導体制の工夫改善により、個に応じた指導の充実が図られるよう専門的な研修の機会や先進的な学校での取り組みの情報共有に努めるとともに、ICTによる授業がより効果的におこなわれるよう、一部教科において「デジタル教科書」の導入を進め、「4 質の高い教育をみんなに」の実現を目指します。

平成31年4月に「公立学校の教育職員の業務量の適切な管理その他教育職員のサービスを監督する教育委員会が教育職員の健康及び福祉の確保を図るために講ずべき措置に関する指針」に基づく、教育職員の在校等時間の上限等に関する方針として「学校における働き方改革アクションプラン」を策定しております。

教職員の業務の質や効率化を高めるとともに、在校等時間の縮減を図ることにより、日々の生活や教職人生を豊かにさせ、自らの専門性や人間性を高め、

子ども達に対して効果的な教育活動を行うための、取り組みの一つとして、「校務支援システム」を導入致します。

また、在校時間等の適切な管理と把握を行うとともに、職員の適切な健康管理のため「ストレスチェック」を導入し、「3 すべての人に健康と福祉を」、「8 働きがいも経済成長も」の実現を目指します。

当町が保有する教育施設等につきましては、改築や長寿命化・修繕等の方向性について調査、検討し、中・長期的な維持管理に係るトータルコストの縮減を図った上で、教育施設に求められる機能・性能を長期にわたり確保することを目的として「羅臼町教育施設等長寿命化計画」を策定致しました。

本年度はこの計画に則り、両小学校及び春松幼稚園の照明のLED化、羅臼幼稚園の外壁と内部改修を実施し、教育環境の充実を図ることにより、

「11 住み続けられるまちづくりを」、「12 つくる責任つかう責任」の実現を目指します。

(2) 羅臼町の未来を拓く人材の育成



次に、「羅臼町の未来を拓く人材の育成」についてであります。

羅臼町で暮らす人々の幸福な人生とより良い町の未来を創造し、輝き続けていくには、「より良い学校教育を通じてより良い社会を創る」という理念のもと、学校と地域の連携を深め、情報を共有するとともに、協働して地域の人材を育成することが重要です。

羅臼高等学校は、当町を持続的に発展させる人材育成の場としての役割を期待するものであり、今後も維持・活性化させていかななくてはなりません。

生徒にとって進学したいと思える魅力的な学校とするため、地域と連携・協働して、社会の変化や生徒の多様な学習ニーズに対応した教育環境を展開し、生徒の自己実現に寄与することができる高校づくりを支援することにより、

「9 産業と技術革新の基盤をつくろう」、「11 住み続けられるまちづくりを」の基礎とします。

世界自然遺産「知床」の地である当町にとって、海外への情報発信や多様な国との交流を図ることは大切であり、そのためのグローバル人材の育成に力を入れていくこととしています。

昨年度に引き続き、英語教育の充実のためALT（外国語指導助手）を2名体制で幼小中高一貫して推進し、子ども達が日常的に英語によるコミュニケーションができる力を育んでまいります。

また、児童生徒が自らの英語力の向上を体感し、更なる高みを望む意欲を醸成するため、小学校6年生から実用英語技能検定への受験を促し、将来的には、中学校3年生卒業時において実用英語技能検定3級合格率50%、高校3年生卒業時においては準2級から2級程度の合格率30%を目指すなど、「4 質の高い教育をみんなに」に取り組みます。

防災教育につきましては、児童生徒の安全確保の観点から、地震や津波、台風などの自然災害において自ら身を守る能力の育成に向け、北海道や関係機関と連携した取り組みの一層の充実が必要であり、各学校での避難訓練の継続的な実施や状況に応じた避難経路の検証を実施するとともに、「一日防災学校」の事業を通じ防災意識を高め、「1 1 住み続けられるまちづくりを」を目指します。

(3) 生涯学習や芸術文化・スポーツの振興



次に、「生涯学習や芸術文化・スポーツの振興」についてであります。

生涯学習は、自己の充実や生活の向上のために、自らの意思に基づき、必要に応じて自己に適した手段や方法を選んで生涯を通じて行うものです。

本や様々な資料で学習しようとする人を援助する生涯学習の中心的な施設として、図書館の役割は重要であります。

町民の学習の場としての機能が十分に果たされるよう、機能面や施設面、人的配置等、不断に検証し必要な措置について検討・協議を進めてまいります。

読書活動の推進を図るとともに、図書館の利用促進のため、これまでの蔵書検索システムを利用した情報発信の充実や、学校図書館の町民貸出しを可能とする横断的な検索システムの運用を開始します。

また、子どもの読書活動につきましては、本年度から取り組む「第2期子

どもの読書活動推進計画」により読書習慣の定着に向け、親と一緒に読書をする事などの「家庭における読書の取り組み」を推進し、生涯学習の基礎を培い、「1 貧困をなくそう」、「1 1 住み続けられるまちづくりを」の実現を目指します。

当町の社会教育は、ふるさとの良さを発見し、ふるさとに誇りと愛着を持ち、主体的に行動できる人材の育成を目指す「ふるさと学習の推進」を重点とした「第8次社会教育中期計画」に沿って取り組みを進めております。

昨年度に行われた「知床羅臼NOASOBI・MANABIプロジェクト」により、地域の魅力づくりとして創出した新たなフィールドやコンテンツを活用し、ふるさと学習の充実を図ってまいります。

また、これからの町づくりの担い手として期待される青年層の活発な活動や社会参加を促しながら、核となる人材の発掘や育成を図ります。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、各種事業の在り方や実施方法の工夫が求められています。

単に中止や延期をすることなく、できることを模索しながら進めることが大切と考えており、令和3年羅臼町成人式は、来場できなかった方や多くの方々にもご覧頂くことができるよう、L I V E配信を実施致しました。

このような新たな取り組みについて、今後の事業においても必要に応じ導入するなど、映像の力を用いて、町民の皆様にふるさと学習の取り組みをご覧

頂き、事業への参加・協力の輪を広げ、心を結ぶ地域づくりを目指し、

「11 住み続けられるまちづくりを」、「17 パートナーシップで目標を達成しよう」の実現を目指します。

昨年度実施した「ドローン講座」は、多くの方に参加頂き、大変好評でありました。

ドローンの活用方法は、仕事や趣味の中で多種多様にわたり、大きな注目を集めていますので、正しい知識や操作方法を学び、当町の魅力づくりのための手段の一つとしての活用を期待しております。

今年度は、ドローンなどで撮影した映像の編集や情報発信といった講座の実施も検討し、「8 働きがいも経済成長も」、「9 産業と技術革新の基盤をつくろう」の実現を目指します。

こまぐさ学級などの高齢者を対象とした取り組みにつきましては、参加者ニーズを把握し、多くの方々が生き生きと心豊かな芸術・文化活動が実施できるよう努め、「3 すべての人に健康と福祉を」、「11 住み続けられるまちづくりを」を目指します。

各種社会教育関係団体やサークル活動につきましては、活動場所の確保として、今年度も学校開放事業や代替施設となる町内施設の利用調整に努め、

文化協会等と連携を図りながら日頃の活動が円滑に行えるよう取り組み、

「1 1 住み続けられるまちづくりを」を目指します。

社会体育活動につきましては、耐震と機能充実のための内部改修を実施していた町民体育館が、令和3年6月にリニューアルオープンを予定しております。

新たな体育館では、町民の体力向上に寄与できるようトレーニングルームの充実を図るとともに、スポーツ合宿も出来るよう調理実習室や幅広い利用者層を想定し多目的トイレを整備致しました。

町民の皆様にスポーツへの関心を高めて頂き、利用拡大につながるよう、スポーツ協会やNPO法人羅臼スポーツクラブ「らいず」と連携して、レジャースポーツやレクリエーション事業を企画・実施し、健康増進とコミュニティづくりに役立つスポーツ振興を図り、「3 すべての人に健康と福祉を」、「1 1 住み続けられるまちづくりを」の実現を目指します。

昨年登録された、日本遺産「みちのり鮭の聖地の物語～根室海峡一万年の道程」につきましては、1市3町で構成する「鮭の聖地メナシネットワーク」において、この地に暮らす私たちが誇りと愛着をもってその魅力を語り伝えていけるよう歴史的な裏付けと、今を生きる産業の担い手たちの思いを重ね「ますがたず鱒形図

じゅういっぴんさけがたずよんぴん拾壹品鮭形図四品」の紹介資料を制作することとしています。

日本遺産の深掘りモデルコースを実施する他、地域の宝である食の資源についてもその魅力を整理することとしており、知床羅臼町観光協会等と連携し、地域振興につながる取り組みについて検討し、「9 産業と技術革新の基盤をつくろう」、「14 海の豊かさを守ろう」、「15 陸の豊かさを守ろう」の実現を目指します。

当町には先人達が培ってきた文化的活動とそれによって生み出されてきた貴重な文化財が数多くあります。

郷土資料館では、多くの町民に、自らの地域について様々な角度から学び、理解を深める講座などを企画し、郷土に愛着や誇りを持つことにつながるよう、当町の歴史、文化、自然等について学習する機会の提供を図ります。

羅臼町無形文化財第1号であります「羅臼町郷土芸能 知床いぶき樽」は、町の唯一の郷土芸能であり、その歩みや功績を後世に末永く伝えるため、郷土資料館内に資料展示スペースを新たに設け、郷土芸能の保存と伝承に努めます。

また、人口減少が進む中、各種活動において指導者不足という課題があり、羅臼町第8次社会教育中期計画でも指導者の発掘と養成を推進項目として取り上げております。

引き続き、関係団体等と連携を図りながら後継者の育成に力を入れ、

「11 住み続けられるまちづくりを」の実現を目指します。

4. おわりに

以上、令和3年度に取り組む主要な施策を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症対策により、学校の生活様式も含め、教育を取り巻く環境が急激に変化しています。

この中で、児童生徒が健やかで豊かな学びが続けられる地域づくりを推進するためには、学校・家庭・地域・行政の緊密な連携と、深い理解が不可欠です。

知床学をはじめとするふるさと学習を核としたE S D（持続可能な開発のための教育）を推進し、SDG sの4番目の目標である「質の高い教育をみんなに」を重点目標に、持続可能な教育環境の整備に努め、羅臼町の教育の充実・発展に取り組んでまいります。

議員の皆様をはじめ、町民の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

第7章 令和3年度羅臼町・教育の取組みの概要

羅臼町教育の目標

〔ふるさと羅臼の躍進を創造し いきいきと逞しく行動する 心豊かな町民の育成〕

- I 社会で生きる力の育成
 - 〔生きる力の基礎の育成〕
 - 〔生きる力の育成に向けて〕
- II 羅臼町の未来を拓く人材の育成
- III 生涯学習や芸術文化・スポーツの振興

1 学校教育

【社会で生きる力の育成】

施策事業名	羅臼町立小学校・羅臼町立幼稚園の適正配置計画策定			
所管	学務課			
事業目的・概要	子ども達の能力を最大限に伸ばし、かつ、将来地域社会の一員としての基盤を育むために必要な学校規模や学習環境の指針を策定する。			
実施内容	町内各幼稚園・小学校と情報共有を図った。			
事業費	0千円			
課題等	—			
評価	担当	—	外部	—

施策事業名	基礎学力の定着①			
所管	教育指導主幹			
事業目的・概要	教員の資質の向上を図るため道立教育研究所と連携した研修や支援教育に係る研修を推進し、教職員の参加満足度3.5点以上（4点満点）を得る。			
実施内容	令和3年7月28日に道研地域連携講座兼教師力向上研修会を開催した。			
事業費	0千円			
課題等	<p>【成果】</p> <p>アンケートを集約した結果、参加満足度が3.8点（4点満点）であった。</p> <p>【課題】</p> <p>WiFi環境が不安定だったので、改善が必要である。</p>			
評価	担当	B	外部	B

施策事業名	基礎学力の定着②			
所管	教育指導主幹			
事業目的・概要	「羅臼町学力向上プラン」に基づく教育を推し進め、「全国標準学力検査」において、正答率全国平均以上を目指す。			
実施内容	前年度調査の分析を行い、その結果を各校に提供し、各校での授業改善を促した。			
事業費	361千円			
課題等	【成果】 小学校第6学年において全教科で全国平均を上回った。 【課題】 その他の学年においては全教科で全国平均を下回った。			
評価	担当	C	外部	C

施策事業名	基礎学力の定着③			
所管	教育指導主幹			
事業目的・概要	令和3年度全国学力学習状況調査（小6・中3）に全校で参加し、正答率全国平均以上を目指す。			
実施内容	前年度調査の分析を行い、その結果を各校に提供し、各校での授業改善を促した。			
事業費	0千円			
課題等	【成果】 小学校第6学年は国語・算数で全国平均を上回った。 【課題】 中学校第3学年は、全国平均を下回った。			
評価	担当	C	外部	C

施策事業名	基礎学力の定着④			
所管	教育指導主幹			
事業目的・概要	北海道教育大学釧路校の学生による小学校第3学年～第6学年児童対象の学習支援事業であるアフタースクールを年2回行い、参加満足度3.5点以上（4点満点）を得る。			
実施内容	令和3年11月13・14日に春松小学校で実施した（コロナ禍の影響で、9月の羅臼小学校は中止）。			
事業費	0千円			
課題等	【成果】 参加児童の満足度は4点（4点満点）であった。 【課題】 コロナ禍の影響により年1回の実施となった。			
評価	担当	B	外部	B

施 策 事 業 名	基礎学力の定着⑤			
所 管	教育指導主幹			
事業目的・概要	主体的・対話的で深い学びを創る「学習指導」の実現に向け、全園・校で指導主事の計画訪問以外に要請訪問を実施する。			
実 施 内 容	<p>【訪問日】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年9月15日・11月12日 春松小学校 ・令和3年9月17日 羅臼幼稚園 ・令和3年11月15日 知床未来中学校 ・令和4年1月27日 春松幼稚園 ・令和4年1月28日 羅臼小学校 			
事 業 費	0千円			
課 題 等	<p>【成果】</p> <p>すべての園・校で実施し、指導助言を受けた。</p> <p>【課題】</p> <p>全幼稚園、小中学校での複数回数の実施が必要である。</p>			
評 価	担当	B	外部	B

施 策 事 業 名	体力・運動能力の向上			
所 管	教育指導主幹			
事業目的・概要	春松小学校に体育専科教諭の配置を継続し、体育授業の指導法改善を通して、小学生の体力運動能力を向上させ、全国体力運動能力調査（第5学年児童）における体力合計点全国平均点を上回る。			
実 施 内 容	体育専科教諭が、各学年における指導計画の見直しと、指導方法の改善を行うことにより、児童の体力向上を図るよう促した。			
事 業 費	0千円			
課 題 等	<p>【成果】</p> <p>第5学年男子児童、女子児童ともに全国平均を上回った。</p> <p>【課題】</p> <p>体育専科教諭加配の成果を、いかに他の教諭に引継ぐか検討する必要がある。</p>			
評 価	担当	A	外部	A
委員からの質問・意見等	<p>【意見】 現在、体育専科教諭が配置され、体力向上の効果が表れている。体育専科がいなくなっても、継続した授業は行えるか。</p> <p>【回答】 体育専科教諭のノウハウを他の教諭に引継ぎ、学校全体で取り組んでいく必要がある。</p>			

施策事業名	幼稚園教育の充実			
所管	教育指導主幹			
事業目的・概要	「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」への育みを実現させる質の高い教育を提供できるよう幼稚園教諭研修会を実施し、参加満足度3.5点以上（4点満点）を得る。			
実施内容	令和3年10月6日、根室教育局教育支援課長を招き、実施した。			
事業費	0千円			
課題等	【成果】 アンケートを集約した結果、参加満足度が3.8点（4点満点）であった。 【課題】 より一層の幼小連携に向け、小学校の教員の参加を促す。			
評価	担当	B	外部	B

施策事業名	幼稚園での英語教育			
所管	教育指導主幹			
事業目的・概要	英語に楽しく触れる活動を実践するため、外国語活動を実施する。			
実施内容	令和3年11月よりALT（外国語指導助手）2名体制とし、毎週幼稚園で外国語活動を実施した。			
事業費	9,476千円			
課題等	【成果】 幼稚園での外国語活動を推進し、園児の興味関心を高めることができた。 【課題】 コロナ禍の影響により年度途中からの配置となったため、十分な指導ができなかった。			
評価	担当	B	外部	B
委員からの質問・意見等	【意見】ALT（外国語指導助手）が2名配置となり、将来的な位置づけや成果が問われる。また、小学校進学時には成果が表れていると思われる。 【回答】ALT（外国語指導助手）2名体制の効果検証について、数年後実施したい。			

施策事業名	スタートカリキュラムの検証			
所管	教育指導主幹			
事業目的・概要	幼稚園から小学校への円滑な学びの接続の充実するため幼小の教諭が協働で「幼小スタートカリキュラム」を作成する。			
実施内容	令和3年12月13日にスタートカリキュラム策定会議を実施し、令和4年3月11日までの作成を指示した。			
事業費	0千円			
課題等	【成果】 幼小の教諭が協働で作成し、令和4年度当初から運用することができた。 【課題】 羅臼地区と春松地区の交流の活発化を促す必要がある。			
評価	担当	B	外部	B

施策事業名	個別の支援計画「こんぱす」の活用促進と研修会の開催			
所管	教育指導主幹			
事業目的・概要	「こんぱす」の活用を促進し、特別な支援を必要とする園児児童生徒についてきめ細かな教育を行うため、指導者への研修機会の充実を図り、参加満足度3.5点以上（4点満点）を得る。			
実施内容	令和3年11月29日に発達障害者支援センター「きら星」センター長丸山芳孝氏を招き実施した。 ○講話「長期の見通しを持った一貫性のある特別支援教育のあり方」 28名参加			
事業費	0千円			
課題等	【成果】 アンケートを集約した結果、参加満足度が3.6点(4点満点)であった。 【課題】 担当者だけではなく一般教員の参加を促す必要がある。			
評価	担当	B	外部	B

施策事業名	羅臼高校における環境教育の支援			
所管	ふるさと教育担当			
事業目的・概要	町内の保護者や生徒から選ばれる高校づくりを推進するため、特色ある教育として、環境教育についての支援を引き続き行う。			
実施内容	適宜外部講師を招聘した			
事業費	2,450千円			
課題等	【成果】 計画通り実施できた。 【課題】 外部講師の選任が、難しかった。			
評価	担当	B	外部	B

施 策 事 業 名	ユネスコスクールE S D活動			
所 管	教育指導主幹、ふるさと教育担当			
事業目的・概要	幼小中高によるユネスコスクール研究発表会を開催し、知床学(海洋教育)の学習成果を発表する。			
実施内容	令和3年12月4日に実施した。			
事業費	0千円			
課題等	<p>【成果】 YouTubeで配信し、一般町民にも公開した。また、一部英語での発表を行った。</p> <p>【課題】 コロナ禍により、一般の観客は会場での観覧ができなかった。</p>			
評価	担当	A	外部	A
委員からの質問・意見等	<p>【質問】ユネスコスクール研究発表会において英語の発表を行ったのか。</p> <p>【回答】当日、英語での発表を行った。</p>			

施 策 事 業 名	E S D教職員研修			
所 管	教育指導主幹			
事業目的・概要	ESD-Jの協力により、町内の幼小中高の教員対象に、ESDの理解と実践力を培うため、研修会を開催し、参加満足度4点以上（5点満点）を得る。			
実施内容	令和3年7月27日にESD-J及び日高青少年自然の家の協力によりハイブリッド方式で実施した			
事業費	0千円			
課題等	<p>【成果】 アンケートを集約した結果、参加満足度が3.8点（5点満点）であった。</p> <p>【課題】 内容がかなり専門的過ぎた。</p>			
評価	担当	C	外部	C

施策事業名	ESD関係機関との連携推進			
所管	教育指導主幹			
事業目的・概要	パイオニアスクール全道発表会、海洋教育サミットへの児童生徒の参加支援を行い、児童生徒の見聞・体験活動の推進を図る。			
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年10月28日にパイオニアスクール全道発表会に参加した。 令和4年2月11日に海洋教育サミットにオンラインで参加した。 			
事業費	665千円			
課題等	<p>【成果】 パイオニアスクール発表会では、町内小中高全校が発表し、高い評価をいただいた。</p> <p>【課題】 海洋教育サミットは、町内の幼稚園小学校のみの参加にとどまった。</p>			
評価	担当	B	外部	B

施策事業名	キャリア教育の充実			
所管	教育指導主幹			
事業目的・概要	望ましい勤労観や職業観を育むため、水産業や酪農、観光業、食品加工業などへの職業体験の実施や外部講師の活用を図る。			
実施内容	未実施			
事業費	0千円			
課題等	<p>【成果】 なし</p> <p>【課題】 コロナ禍のため、実施できなかった。</p>			
評価	担当	C	外部	C

施 策 事 業 名	コミュニティ・スクール			
所 管	社会教育課			
事 業 目 的 ・ 概 要	学校・地域・家庭が学校運営について話し合い、地域とともにある学校づくりを目指す。			
実 施 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校運営協議会の開催 <ul style="list-style-type: none"> 1) 第1回 令和3年4月26日 2) 第2回 令和4年3月23日 ・ コーディネーターの活動 <ul style="list-style-type: none"> 1) 幼稚園の草刈り 2) 羅小の川探索（野外体験） 3) 幼稚園・小学校でのホッケのかまぼこ作り 4) 小学校での鮭フレークづくり、ロープワーク体験 5) 放課後のバス児童の学習 6) 登下校の指導 7) 中学校のキャリア教育ゲストティーチャー依頼 8) 通学路の除雪 9) シトラスリボンの普及授業 			
事 業 費	533千円			
課 題 等	<p>【成果】 コーディネーターの活躍で、地域の方々が学校の内外で活躍するなど学校の要望に応じた活動ができた。</p> <p>【課題】 コロナ禍の影響により、学校からの要望について全て対応できなかった。また、地域から協力体制についても制限等があった。</p>			
評 価	担当	B	外部	B

施 策 事 業 名	家庭教育の充実			
所 管	社会教育課			
事 業 目 的 ・ 概 要	子育てに関する事業を展開する関係機関と連携を取りながら子育て情報の提供を行い、各種事業を通して子育て支援に関わる人材の発掘と養成を図る。			
実 施 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども生活状況アンケートの実施・検証 ・ 啓発物資の作成配布 ・ 講演会の開催（羅臼町幼小中高一貫教育推進協議会と共催） 			
事 業 費	188千円			
課 題 等	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アンケートを実施し、子どもの生活状況の把握を行った。 ・ 啓発物資を配布し、家庭教育の取組みの周知を行った。 ・ メディア端末の使用についての講演会をネット配信で開催し、学習機会及び情報の提供を行った。 <p>【課題】</p> <p>子育て世代の課題やニーズがうまく把握できず、対象者の興味関心の持てる情報提供ができていない。</p>			
評 価	担当	C	外部	B
委 員 か ら の 質 問 ・ 意 見 等	【意見】 課題については、講演会のことについての記載となっている。家庭教育については、多岐に渡り評価困難な部分がある。担当評価は「C評価」だが、外部委員会の評価については、「B評価」としたい。			

施策事業名	デジタル教科書の導入		
所管	学務課		
事業目的・概要	GIGAスクール構想に伴いICT授業がより効果的に行われるよう「デジタル教科書」を導入する。		
実施内容	令和3年度購入実績 ・小学校 国語（1～6年生）、数学（1～6年生）、理科（3～6年生）、英語（5～6年生）、家庭科（5～6年生） ・中学校 理科（1～3年生）、音楽（1～2年生）、英語（1～3年生）		
事業費	2,705千円		
課題等	【成果】 当初計画どおり購入し、各学校で学習環境の整備が図られた。 【課題】 円滑に運用するにあたり、インターネット環境の整備が必要である。		
評価	担当	B	外部 B
委員からの質問・意見等	【質問】活用状況について確認したい。 【回答】文部科学省からの一部補助を活用し導入した。令和6年度から全てデジタル教科書となり、現在は試験的に導入している。町内学校においては全学年導入している。		

施策事業名	ICT研修の実施		
所管	教育指導主幹		
事業目的・概要	主体的・対話的な深い学びの実現のため、ICTを用いた指導方法を充実するための研修会を開催し、参加満足度3.5点以上（4点満点）を得る。		
実施内容	令和3年7月28日に道研地域連携講座兼教師力向上研修会を開催した。		
事業費	0千円		
課題等	【成果】 アンケートを集約した結果、参加満足度が3.8点（4点満点）であった。 【課題】 講座の内容が多岐にわたったため、もう少し焦点を絞る必要がある。		
評価	担当	B	外部 B

施策事業名	アクション・プランの策定		
所管	学務課		
事業目的・概要	教職員の時間外在校等時間の縮減に向けた、第2期羅臼町アクション・プランを策定し、学校現場における環境改善を図り、教職員がやりがいを持って働ける環境を整える。		
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年2月 校長会で協議 ・令和4年2月 羅臼町教育委員会諮問 ・令和4年3月 本計画策定 		
事業費	0千円		
課題等	<p>【成果】 今後、本計画に基づき教職員の時間外在校等時間の縮減に向け取組みを推進する。</p> <p>【課題】 第1期アクション・プラン策定し、成果は徐々に表れている。年度始めなどの業務多忙時期については、時間外在校等時間が多い現状にある。</p>		
評価	担当	B	外部 B
委員からの質問・意見等	<p>【質問】 目標時間の達成状況について確認したい。</p> <p>【回答】 アクション・プランにおいて、お盆時期や年始年末に完全閉庁日を設け、また、学校現場においては、定時退庁日を設けるなど時間外縮減に対する取組みは行っている。以前と比較し、減少傾向にはあるが、年度始めなどの業務多忙時期においては、時間外勤務が多い状況にある。</p>		

施策事業名	校務支援システムの導入		
所管	学務課		
事業目的・概要	児童生徒等に関する様々な情報や教職員間で共有する情報をシステム化し、教職員の公務負担を軽減するとともに、児童生徒の成長を見守るきめ細やかな指導の充実等を図る。		
実施内容	令和3年4月 運用開始 ・校務支援システム…出欠管理、成績管理・処理、指導要録作成、保健情報管理等		
事業費	792千円		
課題等	【成果】 本システム導入により、教職員の公務負担と事務軽減が図られた。また、導入したことにより、時間的に余裕ができ生徒に向き合う時間が増加した。 【課題】 出退勤システム等を導入し、さらなる事務軽減を図る必要がある。		
評価	担当	B	外部 B
委員からの質問・意見等	【質問】成績表など本システムに反映されているのか。 【回答】成績表など本システム上で管理でき、事務処理上の軽減は図られている。		

施策事業名	ストレスチェックの導入		
所管	学務課		
事業目的・概要	教職員のストレス状況についての検査を行い、メンタルヘルス不調の未然防止及び職場の環境改善を図る。		
実施内容	・実施日…令和3年10月 1日～10月17日 ・検査受診率…93%		
事業費	6千円		
課題等	【成果】 各学校での教職員のストレス状況が把握できた。 【課題】 周知不足により、教職員全員の受診に至らなかった。		
評価	担当	B	外部 B
委員からの質問・意見等	【質問】100%受診率は困難なのか。 【回答】実施にあたり校長からも指導いただいているが、数名未受診となっている。今後意識付けが必要である。		

施 策 事 業 名	羅臼町教育施設等長寿命化計画の実施			
所 管	学務課			
事業目的・概要	令和2年度策定した本計画に則り、小学校及び幼稚園の内部改修等を実施し、教育環境の充実を図る。			
実 施 内 容	①LED改修工事 <ul style="list-style-type: none"> ・工期…令和3年9月～令和4年3月 ・施工場所…両小学校、春松幼稚園 ②羅臼幼稚園改修事業 <ul style="list-style-type: none"> ・工期…令和3年7月～令和3年10月 ・施工場所…外壁改修、遊戯室床改修 			
事 業 費	79,882千円			
課 題 等	【成果】 本計画に基づいた施設整備を行ったことで、通園・通学する園児・児童に対し、教育環境の整備が図られた。 【課題】 施設の老朽化が進行し、また資材費等の高騰により、施設改修に係る費用が大幅に膨らんでいる。			
評 価	担当	B	外部	B
委員からの質問・意見等	【質問①】今年度の実施状況について確認したい。 【回答①】羅臼幼稚園のLED工事を施工する。 【質問②】羅臼幼稚園については、壁等の劣化、老朽化が激しい状況にあったが。 【回答②】遊戯室の床の老朽化が激しい状況にあったことから（隙間・破損）、張替えを行った。外壁についても、苔などの影響で汚れが目立ち、また、ヒビ割れなどの劣化も激しいことから、合わせて外壁の補修も行った。			

【羅臼町の未来を拓く人材の育成】

施 策 事 業 名	羅臼高校への支援		
所 管	学務課		
事 業 目 的 ・ 概 要	令和3年度の入学者が7名であったことから、羅臼高校の存続に向け、保護者や生徒から選ばれる魅力ある高校づくりをするための取組みを推進する。		
実 施 内 容	PTA関係者及び教育行政が協議し支援内容を検討し、策定した。		
事 業 費	0千円		
課 題 等	<p>【成果】</p> <p>高校支援に係る予算が確保できた。</p> <p><支援策（令和4年度から導入）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・PC贈呈（学習アプリ含） ・専門書購入補助 ・夏季等講習費用補助 ・国公立大学入学祝金 ・各種検定料補助 ・修学旅行（海外）費用助成 ・海外留学費用助成 ・部活動費補助 <p>※予算総額 16,202千円</p> <p>【課題】</p> <p>地元の生徒が通いたくなる、魅力ある高校づくりの検討が必要である。</p>		
評 価	担当	B	外部 B
委 員 か ら の 質 問 ・ 意 見 等	<p>【質問】 高校の支援策は令和4年度から行っているのか。</p> <p>【回答】 令和4年度から支援を開始している。</p>		

施 策 事 業 名	実用英語検定の受験促進			
所 管	教育指導主幹			
事 業 目 的 ・ 概 要	児童生徒が自らの英語力の向上を実感するため、小学校6年生から受験を促し、中学校卒業時に英検3級合格率50%以上、高校卒業時に英検準2級から2級合格率30%を目指す。			
実 施 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1回目：令和3年5月21日～6月12日 ・ 2回目：令和3年10月1日～10月23日 ・ 3回目：令和4年1月14日～2月5日 			
事 業 費	464千円			
課 題 等	<p>【成果】 中学校は3級合格者4名（受験者4名）、高校は準2級合格者2名（受験者10名）</p> <p>【課題】 いずれも、目標に届かなかった。受験者を増加させる取り組みが必要である。</p>			
評 価	担当	C	外部	C
委 員 か ら の 質 問 ・ 意 見 等	<p>【質問】 受験費用は町で補助しているのか。</p> <p>【回答】 1回目は全額補助し、2回目は予算の範囲内で補助している。</p> <p>【意見①】 幼稚園でも英語教育の充実を行っている。継続した取組みとし、将来的に英語の充実に繋げていただきたい。</p> <p>【意見②】 現在、ALT（外国語指導助手）を2名配置している。今後、検定合格率の上昇を目指していただきたい。</p>			

施策事業名	防災教育の充実		
所管	教育指導主幹		
事業目的・概要	児童・生徒の安全確保の観点から、自然災害において、自ら身を守る能力の育成に向けた防災を含む安全教育の一層の充実を図るため、町立全幼稚園・学校において1日防災学校を実施する。		
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年10月25日 羅臼幼稚園 ・令和3年10月26日 春松幼稚園 ・令和3年11月24日 春松小学校 ・令和3年12月 1日 羅臼小学校 ・未実施 知床未来中学校 		
事業費	0千円		
課題等	<p>【成果】 全幼稚園・小学校で実施できた。</p> <p>【課題】 知床未来中学校は二度の日程変更にも関わらず、コロナ禍のため実施できなかった。</p>		
評価	担当	B	外部 B
委員からの質問・意見等	【意見】一日防災学校については、継続した取組みが必要である。将来的に町主催の総合防災訓練との連携が必要と思う。		

【幼児から18歳までの一貫した教育の推進】

施策事業名	虫歯対策事業		
所管	学務課		
事業目的・概要	年中児から中学生まで、虫歯予防対策を継続して行うことを目的とする。		
実施内容	幼小中と連続した週1回のフッ化物洗口を実施する。		
事業費	100千円		
課題等	<p>【成果】 コロナ禍を除き、幼小中いずれも継続して実施することができた。</p> <p>【課題】 データ不足により、経年の把握変化が困難である。</p>		
評価	担当	B	外部 B
委員からの質問・意見等	<p>【質問】これまで実施しているが、検証結果など保管しているのか。</p> <p>【回答①】検診結果のデータは各幼稚園・学校で保管している。</p> <p>【回答②】継続した取組みにより効果が表れる。</p>		

施 策 事 業 名	食育の実施		
所 管	学務課		
事業目的・概要	生涯にわたって健やかに生きるための基礎を培うことを目的とし、発達段階に応じた食育を実施する。		
実 施 内 容	<p>【令和3年度食育実施日】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 羅臼幼稚園 年少…令和3年11月8日、年中…令和3年11月9日、 年長…令和3年11月11日 ・ 春松幼稚園 年少…令和3年11月4日、年中…令和3年6月23日、 年長…令和3年6月22日 ・ 羅臼小学校 1年生…令和3年12月15日、2年生…令和3年12月16日、 3年生…令和3年10月7日、4年生…令和3年6月15日、 5年生…令和3年7月16日、6年生…令和3年12月20日 ・ 春松小学校 1年生…令和3年11月19日、2年生…令和3年11月29日、 3年生…令和3年11月17日、4年生…令和3年11月25日、 5年生…令和3年11月22日、6年生…令和3年11月18日 ・ 知床未来中学校 1年生…令和4年3月4日、2年生…令和4年3月16日、 3年生…令和4年2月16日 		
事 業 費	0千円		
課 題 等	<p>【成果】 食育学習実施後、給食残食率は少なくなる傾向にあり、効果は表れている。</p> <p>【課題】 時間が経つにつれ効果が薄れていることから、授業時の意識づけや担任教諭との連携必要である。</p>		
評 価	担当	B	外部 B
委員からの質問・意見等	【意見】家庭科の授業でも「食育」に関連した授業を行っていると思う。 今後連携を図ることも必要だと思う		

2 社会教育

【地域の活性化に寄与する生涯学習の振興】

施 策 事 業 名	家庭教育学級		
所 管	社会教育		
事業目的・概要	食育に関する知識の習得や食に関する適切な判断力を養い、生活習慣を整えるケア行動が取れる人材育成を目指す。		
実 施 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 羅臼高校家庭科授業講師対応 「子どもの食生活」 羅高1年生7名 ・ 就学児検査時の待ち時間を利用した家庭教育学級 ※コロナ禍のため中止 ・ (新) かかわりあそびプログラム ※コロナ禍のため中止 		
事 業 費	109千円		
課 題 等	<p>【成果】</p> <p>平成30年度より子どもの自律・親育ち応援チーム「緒むすび」の設置以降、役場内で情報共有や協議を行い、連携した事業展開が可能となっている。</p> <p>【課題】</p> <p>昨年度までプレ幼稚園として実施していた事業について、内容や方法をリニューアルし計画したが、コロナ禍の影響により実施できていない。</p>		
評 価	担当	C	外部 C
委員からの質問・意見等	<p>【質問】 令和3年度コロナ禍の影響により事業が実施できなかったが、今年度の実施予定は。</p> <p>【回答】 今年度は実施予定。ただし、新型コロナウイルスの感染が拡大した場合は中止の可能性もある。</p>		

施 策 事 業 名	ふるさと少年探険隊		
所 管	社会教育		
事業目的・概要	ふるさとの自然に親しみ、豊かな心を養い、子ども達の郷土愛、忍耐力、協調心を育てる。対象は小学校4年生～中学校3年生。		
実 施 内 容	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施期間やわんぱく隊を中止にするなど、規模を縮小し実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ チャレンジ隊（中学生）：9名、同行スタッフ：17名 		
事 業 費	1,561千円		
課 題 等	<p>【成果】</p> <p>継続した高校生ボランティアの確保がされている。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新たな地域スタッフの確保と継続的な人材育成。 ・ 大学、NPO法人、企業等関係機関との連携強化。 ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の構築 		
評 価	担当	B	外部 B

施 策 事 業 名	創作料理プロジェクト		
所 管	社会教育		
事 業 目 的 ・ 概 要	知床の風土や食・自然の素晴らしさについて再発見すること、課題や問題点に対し共に学び合い・助け合う集団行動を体験的に学びとることをねらいとし、「ふるさと学習」につながる取り組みとする。		
実 施 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校授業及び放課後プログラムの取組開始 ・ 知床kids・こまぐさ学級との交流事業 ・ 「らうす大漁焼き」知床アウトオアフィルム出店 ・ 「らうす大漁焼き」町民向け販売 		
事 業 費	908千円		
課 題 等	<p>【成果】 イベント出店により、町内外へ羅臼高校の活動及び羅臼町の食のPRができた。</p> <p>【課題】 参加人数の確保等安定的な取り組み体制の確保が必要。</p>		
評 価	担当	B	外部 B
委 員 か ら の 質 問 ・ 意 見 等	<p>【質問】 事業実施した成果について確認したい。</p> <p>【回答】 大漁焼き事業を通じて、「こまぐさ学級」と次世代間との交流ができた。また、イベント時に出店することで、食に対してのPRを町内・外へ向けて発信できた。</p>		

施 策 事 業 名	高校生の水産教室			
所 管	社会教育			
事業目的・概要	次代を担う高校生を対象に、基幹産業である漁業を中心とした地元の産業に関する知識や技術を学ぶ機会とする。			
実 施 内 容	各産業の担い手によるトークセッションの実施や、サケトバなどの料理実習の他、国家資格「潜水土」取得に繋がるダイビング講習などの実施。 ・ダイビング10回、施設見学1回、鮭・郷土料理実習3回 ・参加者：8名			
事 業 費	648千円			
課 題 等	【成果】 水産教室のプログラムであるダイビング講習から派生して、国家資格である潜水土の取得者を1名輩出した。 【課題】 本事業のPRを積極的に展開することで、羅臼高校の魅力発信に繋げることが必要。			
評 価	担当	B	外部	B
委員からの質問・意見等	【質問】ダイビング講習を実施しているが、国家資格を取得した生徒は何名いたのか。 【回答】令和3年度1名受験し合格した。当初3名受講予定であったが、コロナ禍の影響により2名受講を見送った。 【意見】ダイビング講習は良い授業である。もっとPRすべきではないか。 【回答】特色のある事業である。羅臼高校の魅力を広げるため、今後PRしていく。また、近年は女子生徒の受講も増加傾向にある。			

施 策 事 業 名	リーダー養成事業			
所 管	社会教育			
事業目的・概要	ボランティア活動や教育委員会等の各種事業、研修を通じて、組織的学習活動の助長を図り、リーダーを養成する。			
実 施 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 羅臼町活性化ワーキンググループ しれとこ羅臼昆布フェスタ ※コロナ禍のため中止 ・ 青年先進地視察事業 「未来創造型事業」と連携し視察事業を実施した。異業種・異世代の参加を社会教育が中心となった声かけから実現し、新たなまちづくり活動の推進など気づきから行動に繋げる事業を展開した。 			
事 業 費	320千円			
課 題 等	<p>【成果】 先進地視察に参加したメンバーにより実行委員会が組織され、魚の陸上養殖実現に向けた協議検討が行われ、研修会などの事業が展開されている。</p> <p>【課題】 青年先進地視察事業参加者の気づきからアクションに至るまで、賛同する仲間の獲得やチームビルディングの手法などのレクチャー、事業を実施するまでの予算獲得のノウハウなど専門的な支援に対応できる人材確保が必要である。</p>			
評 価	担当	B	外部	B
委員からの質問・意見等	<p>【質問①】 視察は何名くらいで行ったのか。</p> <p>【回答①】 19名の構成員で、うち12名がまちづくり関係者である。</p> <p>【質問②】 視察後、実現に至った事業はあるか。</p> <p>【回答②】 現在、実行委員会を組織しており、陸上養殖に向けた検討を現在行っている。目に見えた効果はまだないが、継続して協議していく。今後動きが見えてくると思われる。</p>			

施 策 事 業 名	社会教育関係団体等の支援			
所 管	社会教育			
事業目的・概要	団体をリードする指導者の発掘・養成を推進し、自主自立を目指した継続的な支援・育成を図る。			
実 施 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・活動資金となる補助金確保 文化協会、スポーツ協会、スポーツ少年団、子ども会、女性連、いぶき樽への補助金の支出 ・自主・自立の活動に対する支援と協力 各担当が必要に応じて、助言、支援を行う ・団体が主催する事業の連携 			
事 業 費	1,520千円			
課 題 等	<p>【成果】 スポーツ協会や女性連等、自立した団体活動の展開が継続されている。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体の実情に応じた自主・自立を目指した活動支援 ・団体リーダーの発掘及び育成 			
評 価	担当	B	外部	B
委員からの質問・意見等	<p>【質問】支援することで求めているものは何か。</p> <p>【回答】各団体の自主・自律である。</p>			

施 策 事 業 名	成人式			
所 管	社会教育			
事業目的・概要	成人となったことを祝い、社会人としての有意義な人生を歩むよう誓い、励ます機会の提供及び実行委員会での企画立案等を通じて、社会でも生きる人材の育成を図る。			
実 施 内 容	<p>式典は町が主催するが、他のプログラムは新成人による実行委員会体制で実施し、式典当日のムービーなどのアトラクションを企画。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新成人57名中 45名出席 ・実行委員15名 			
事 業 費	641千円			
課 題 等	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新成人で組織された実行委員会で企画立案及びアトラクションの運営を行ったことにより、参加者の満足度向上に繋がった。 ・アトラクションの企画立案、準備、運営を通じて、組織で生きる人材の育成に繋がった。 <p>【課題】</p> <p>毎年同じ取組ではなく、その年の対象者（実行委員）にあった、アプローチや取り組みの検討が必要である。</p>			
評 価	担当	B	外部	B

施 策 事 業 名	社会教育計画及び各種調査研究			
所 管	社会教育			
事業目的・概要	地域の実情に即した社会教育計画の策定を行う。そのために、各種調査及び資料収集活動を行い、計画の遂行及び事業展開のための基礎資料とする。			
実 施 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予算編成に伴う事業反省評価を実施 ・ 事業反省評価と新年度の事業計画 ・ 単年度計画の発行 			
事 業 費	0千円			
課 題 等	<p>【成果】</p> <p>中期計画に基づく事業実施と中間評価や、各種研究調査を基に予算編成に向けた反省評価を実施したことで、新規予算獲得に繋がった。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門職（司書・専門社会教育主事）の適正配置の実施。 ・ コロナ禍に合わせた反省評価や事業計画の方策の検討が必要である。 			
評 価	担当	B	外部	B

施 策 事 業 名	諸会議 社会教育委員の会兼図書館協議会			
所 管	社会教育			
事業目的・概要	生涯学習の観点から、当町の社会教育振興策を探り、地域に根ざした推進方策を立てる。			
実 施 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会教育委員の会の開催 会議3回 21名 ・ 管内研修会への参加 1回2名 ・ 全道研修会 中止 			
事 業 費	632千円			
課 題 等	<p>【成果】</p> <p>コロナ禍の影響にあっても、可能な限り会議を開催し、教育委員会の諮問に答する等、役割を果たした。</p> <p>【課題】</p> <p>第8次中期計画通りの事業実施に努め、事業の検証をするが、コロナ禍の事業実施のため感染拡大防止に努めるなど工夫した事業運営が必要である。</p>			
評 価	担当	B	外部	B

【文化・芸術の振興】

施 策 事 業 名	羅臼町総合文化祭		
所 管	社会教育		
事業目的・概要	町内の文化活動をしている個人・団体・グループが一堂に会し、日頃の活動成果の発表機会を提供し、活動の助長を図る。		
実 施 内 容	<p>例年であれば羅臼町教育委員会と羅臼町文化協会が共催しているが、「羅臼町文化協会第4回役員会」にて、展示部門に関しては町教委がすべて実施方法を設定し、作品を募集した後の状況を見て開催の可否も判断することとなったため、今年度については実行委員会組織を組まず、町教委単独主催。展示物の観覧のみであればコロナ禍でも可能と判断し実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出品者数：7団体3個人 		
事 業 費	140千円		
課 題 等	<p>【成果】 コロナ禍にあっても展示部門を実施したことにより、各文化団体や趣味活動の成果発表の機会の確保することができた。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存団体等の現況把握、自主的活動への支援 ・効果的な周知方法の模索 		
評 価	担当	B	外部
委員からの質問・意見等	<p>【質問】活動の助長を図る具体的な取組内容について確認したい。</p> <p>【回答】文化祭で活動の発表の場を設けることで、モチベーションの向上に繋がっている。</p> <p>【意見】こまぐさ学級等の団体に対しても、発表の場を設けることで、モチベーションの向上に繋がるのではないかと。</p>		

施 策 事 業 名	芸術文化鑑賞事業		
所 管	社会教育		
事業目的・概要	多くの人に知られている著名人を講師に招き、現代社会に即応できるような知識・見聞を深める。または、生の優れた音楽を鑑賞する機会を提供する。		
実 施 内 容	青年層向けの鑑賞事業として「うるとらうす！」を開催。新型コロナウイルス感染症対策として、生ライブ配信も実施。青年、高校生による実行委員会主催。 ・来場者58名 ・配信視聴者49名		
事 業 費	1,800千円		
課 題 等	【成果】 ・高校生を中心とした実行委員会での企画立案から当日の成功体験による人材育成に繋がった。 ・音楽鑑賞の機会提供による芸術文化の振興 【課題】 「うるとらうす！」を経験している社会人への実行委員としての呼びかけや事業に関する積極的な情報発信の実施。		
評 価	担当	B	外部
委員からの質問・意見等	【質問①】 実行委員会の構成メンバーについて確認したい。 【回答①】 羅臼高校生15名、社会教育課職員3名。 【質問②】 社会人の実行委員会が不足していることか。 【回答②】 高校生が主体となって、企画・運営を行っているが、実行委員を経験した高校生が、卒業後も実行委員会に加わり事業展開していくことが理想である。		

施 策 事 業 名	ふるさと体験教室「知床kids」			
所 管	社会教育			
事業目的・概要	らうすの自然を楽しみながら学習し、郷土・文化を愛する心を育てる。			
実 施 内 容	<p>他団体・異世代との交流や羅臼の自然・文化に関し、遊びを通して学ぶ。プログラムについては知床財団、環境省、郷土資料館と検討し、実施。</p> <p>1) 令和3年7月 開級式、羅臼湖トレッキング 【参加者：小学生11名】</p> <p>2) 令和3年8月 チャシコツ磯遊び（ウトロ愛護少年団との交流事業） 【コロナ禍の影響により中止】</p> <p>3) 令和3年10月 アクアマリンふくしまと遊ぼう 【コロナ禍の影響によりプログラム変更】</p> <p>4) 令和3年10月 立ちかまどづくりにチャレンジしよう！ 【参加者：小学生5名】</p> <p>5) 令和3年11月6日 土器づくり体験 【参加者：小学生12名】</p> <p>6) 令和3年12月 こまぐさ学級との交流事業 【参加者：小学生10名・こまぐさ15名】</p> <p>7) 令和4年1月 冬の相泊生き物観察会 【コロナ禍の影響により中止】</p> <p>8) 令和4年2月 幌萌スノーシュートレッキング・閉級式 【コロナ禍の影響により中止】</p> <p>・対象：小学校4～6年生 ・4回開催 15名 中学生 2名（ボランティア参加）</p>			
事 業 費	341千円			
課 題 等	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規プログラムを開発・実施したことで、今後の事業展開における提供プログラムの多様性を得た。 コロナ禍においても感染対策を講じながら事業の継続実施を行った。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎年参加しているキッズが多く、新規プログラムの企画開発及びプログラムの2～3カ年のサイクル化が必要である。 ウトロ愛護少年団との交流内容の改善が必要である。 			
評 価	担当	B	外部	B
委員からの質問・意見等	<p>【質問①】定員は何名か。 【回答①】25名。</p> <p>【質問②】ウトロとの交流事業は、過去にも実施しているのか。 【回答②】コロナ禍の影響により、交流事業は困難な状況である。次年度は、コロナの状況を見て対面での実施を行いたい。</p> <p>【質問③】2～3年サイクルが必要と記載しているが、プログラムは固定化しているのか。 【回答③】マンネリ化を防ぐため、2～3年サイクルが必要と思われる。</p>			

施 策 事 業 名	らうす寺子屋kids		
所 管	社会教育		
事業目的・概要	長期休業中の子どもの生活リズムを整え、学習習慣や運動習慣等を含めた生活習慣を改善・定着させる。		
実 施 内 容	<p>図書室を活用しながら本に親しむ機会を提供し、図書室の利用促進を図る。読み聞かせと体験学習を連動させることで日本の伝統食に対する気づきを促し、食育を行う。読み・書きに加え生活文化を体験できる寺子屋とする。</p> <p>1) 運動プログラム：ラジオ体操等 2) 体験プログラム：手作り絵本 3) 学習プログラム：読書 4) 親子プログラム：食育教室</p> <p>・参加者：12名 ・期間：令和3年8月3日～8月6日</p>		
事 業 費	42千円		
課 題 等	<p>【成果】 生活リズムが整っているか否かの指標で朝食摂取率を95%以上としていたが、令和3年度は100%で、起床後事業開始までに朝食を摂る時間がある状況であるので、参加者は生活リズムが整っていると判断する。</p> <p>【課題】 ボランティアスタッフの確保。</p>		
評 価	担当	B	外部 B
委員からの質問・意見等	<p>【質問】ボランティアの参加状況について確認したい。</p> <p>【回答】読み聞かせサークルやPTA関係者に協力いただき、4名の参加である。</p>		

施策事業名	各種講座			
所管	社会教育			
事業目的・概要	趣味的活動や資格取得等、各種講座を開催することで、実際生活に即した生きがい感もてる学びの機会を提供する。			
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ドローン講座 初級編・中級編を予定していたが、コロナ禍の影響により中止 ・外国語講座 地域おこし協力隊（ふるさと教育クリエイター）による語学講座 <ul style="list-style-type: none"> 1) 英語クラス 2) 中国語クラス 3) スペイン語クラス 4) 郵便局職員対象英語研修 			
事業費	745千円			
課題等	【成果】 希望者のニーズに合わせて柔軟に語学教育を実施した。 【課題】 一般町民への認知度向上。			
評価	担当	B	外部	B
委員からの質問・意見等	【質問①】 町民からのニーズは反映しているのか。 【回答①】 要望があれば柔軟に対応している。 【質問②】 外国語講座の講師は誰が行っているのか。 【回答②】 地域おこし協力隊で対応している。 【質問③】 郵便局で行った講座は実用的なものか。 【回答③】 実践的な講習を行っている。			

施 策 事 業 名	こまぐさ学級		
所 管	社会教育		
事業目的・概要	趣味活動、教養講座を通じて高齢者が生きがい感をもてる機会を提供する。		
実 施 内 容	60歳以上の高齢者を対象とし、異世代交流（園児・知床kidsなど）や社会奉仕活動（幼稚園へ手づくり雑巾寄贈）などを実施。 年7回の実施 参加登録者15名 1) 開級式 1回 2) 異世代交流 3回 3) クラブ活動 3回		
事 業 費	133千円		
課 題 等	【成果】 出席率92.6%～100%と高く、15人中14人が全プログラムに参加していることから、ニーズに合わせたプログラムが展開出来ており、満足度が高いと推察される。 【課題】 ・高齢者に即したプログラムの企画開発 ・新規加入者（現参加者世代より若い層、男性含む）の参加者の発掘が必要である。		
評 価	担当	B	外部 B
委員からの質問・意見等	【質問】15名の参加者となっているが、参加者の推移について確認したい。 【回答】例年同様の参加者である。		

施 策 事 業 名	子育て支援関連事業		
所 管	社会教育		
事 業 目 的 ・ 概 要	子育てに関する事業を展開する関係機関と連携をとりながら子育て情報の提供を行い、各種事業を通じて子育て支援に関わる人材の発掘と養成を図る。		
実 施 内 容	<ul style="list-style-type: none"> 生活状況アンケート調査の実施。 zoomを利用しオンラインで町内在住の一般市民を対象とし、スマホと生活習慣をテーマとした講演会を実施。 		
事 業 費	748千円		
課 題 等	<p>【成果】 生活状況アンケートの実施による各種データの収集。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育て世代の関心やニーズの調査。 講演会等の情報発信の強化。 		
評 価	担当	B	外部 C
委 員 からの 質 問 ・ 意 見 等	<p>【質問】生活状況アンケート調査は、毎年実施しているのか。また、事業を行ったことでの変化は表れたのか。</p> <p>【回答】アンケートは毎年実施しているが、まだ目に見える成果は表れていない。今後、アンケートを積み上げていけば成果は表れると思われる。</p>		

3 社会体育

【スポーツ活動の推進・環境の充実】

施 策 事 業 名	諸会議 スポーツ推進委員会		
所 管	社会体育		
事 業 目 的 ・ 概 要	社会体育振興の視点から当町の体育・スポーツ並びに健康・体力づくりの振興方策を探り、地域に根ざした社会体育の推進に努める。		
実 施 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進員各種会議や研修会への参加 スポーツ推進委員会議 計3回 ・オジロまつり雪合戦大会 オジロまつり中止のため事業中止 ・管内スポーツ推進委員研修会 中止 ・全道スポーツ推進委員研究協議会 中止 ・管内スポーツ推進委員協議会役員会・研修会 令和3年12月18日3名出席 		
事 業 費	239千円		
課 題 等	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議を通して町内のスポーツに関する取組等の情報共有がされている。 ・管内の研修会に参加し、社会体育の見聞を深めた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育分野の課題について議論されるも、その後の取組に繋がっていない状況がある。 ・管内、全道の研修会開催が少なく、委員研修の場が足りない。 		
評 価	担当	B	外部 B

施 策 事 業 名	調査・研究 体育館利用者懇談会		
所 管	社会体育		
事 業 目 的 ・ 概 要	各種調査により、社会体育事業を効果的に実施する方策を検討する。		
実 施 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・運動適正テスト、新体カテストの実施 らいず事業である「とことこ」において、定期測定などを行いながらコーディネーショントレーニングに取り組んだ。 ・新体カテスト実施によるデータ収集 2月に予定していたがコロナ禍の影響により未実施 		
事 業 費	0千円		
課 題 等	<p>【成果】 らいず事業である「とことこ」において、コーディネーショントレーニングを実施。定期測定による身体能力の向上が見られた。</p> <p>【課題】 様々な年代への運動能力向上や健康づくりについて効果的なアプローチ方法を検討する必要がある。また、体験会の実施などから調査研究に繋げることが必要である。</p>		
評 価	担当	C	外部 C
委 員 か ら の 質 問 ・ 意 見 等	<p>【質問】方策の検討は行っていないのか。</p> <p>【回答】新体カテストが中止となり、データ収集ができなかったことから、「C評価」とした。</p>		

施 策 事 業 名	町内施設の有効活用 体育施設の維持・管理		
所 管	社会体育		
事 業 目 的 ・ 概 要	各スポーツ施設の整備および効果的な開放の促進を図る。		
実 施 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 羅臼町民体育館指定管理者（令和1年度～令和3年度） 令和3年6月まで耐震内部改修工事のため、指定管理料を一部減額して、実施。 ・ 運用開始後の利用者ニーズから、ミニバスケットゴールの常設、高齢者用トイレ手摺の設置などを対応、新規予算化した。 		
事 業 費	28,875千円		
課 題 等	<p>【成果】 指定管理業者と連携して団体のニーズを把握し、対応するための新規予算獲得に繋がった。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 更に利用しやすい拠点づくりを目指して利用者団体等と意見交換を継続的に行う。 ・ らうすぽ以外の拠点も含めて羅臼町全体の施設を有効活用しスポーツ活動や芸術文化活動の停滞とならないよう工夫が必要。 		
評 価	担当	B	外部 B
委 員 か ら の 質 問 ・ 意 見 等	<p>【質問①】 町民体育館の効果的な開放事業について確認したい。</p> <p>【回答①】 町民体育館の運営は、指定管理者である「らいず」で委託している。バスケットボール少年団等からバスケットゴールの設置要望があったことから、令和3年度予算要求し、令和4年度設置した。</p> <p>【質問②】 団体等の利用状況について確認したい。</p> <p>【回答②】 部活動やスポーツ少年団で利用している。また、休日には小・中学生・高校生の一般利用者も多数いる。</p>		

施 策 事 業 名	各種関連事業 総合型地域スポーツクラブ協働事業 クナシリ眺望駅伝大会			
所 管	社会体育			
事業目的・概要	練習成果発表の場及び町民相互の交流機会の提供を図る。			
実 施 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・根室管内スポーツ交歓大会 令和3年9月5日 別海町 中止 ・根室管内親睦ミニテニス交流会 令和3年12月18日 中標津町 ・クナシリ眺望駅伝競走大会 令和3年10月10日 中止 ・総合型地域スポーツクラブ協働事業 ノルディックウォーキング講習会 令和3年11月3日 ・スポーツ推進委員による雪合戦大会（オジロ祭り） 中止 ※上記大会への企画運営等の支援を行う。			
事 業 費	0千円			
課 題 等	【成果】 コロナ禍でありながらも事業を開催したことにより、町民のスポーツ習慣維持の機会提供となった。 【課題】 <ul style="list-style-type: none"> ・人口の減少に伴い、町内戦が成り立たない競技もあり、試合の経験が限りなく少ない状況となっているため、スポーツ人口の増加を図る。 ・コロナ禍における安全な事業開催方法の確立。 			
評 価	担当	B	外部	B

施 策 事 業 名	スポーツ団体の育成・支援 スポーツ協会加盟団体・スポーツ少年団加盟団体の育成及び支援、総合型地域スポーツクラブとの連携及び支援			
所 管	社会体育			
事業目的・概要	団体をリードする指導者の発掘、育成を推進し、自主自立を目指した継続的な支援、育成を図る。			
実 施 内 容	羅臼町スポーツ協会や羅臼町スポーツ少年団等、各団体へスポーツ振興を展開していくための支援を行った			
事 業 費	0千円			
課 題 等	【成果】 各種団体の継続した自主運営がなされている。 【課題】 スポーツ協会及びスポーツ少年団の運営に関し、可能な限り自主運営が続くよう継続して支援や助言を行う。			
評 価	担当	B	外部	B
委員からの質問・意見等	【質問】 成果はどのようなものがあったのか。 【回答】 過去、各団体での会議等の準備・進行等については、社会教育課職員が対応していたが、近年、各団体で準備・進行を行っている。現在、社会教育課では助言を行っている立場である。			

施 策 事 業 名	指導者養成、リーダー発掘養成事業 地域スポーツ指導者の発掘及び養成		
所 管	社会体育		
事 業 目 的 ・ 概 要	地域リーダーやスポーツ活動をけん引する指導者の発掘・養成を推進する。		
実 施 内 容	各種指導者研修会やニュースポーツ講習会、リーダー研修会についてスポーツ協会、スポーツ少年団を中心に情報提供を行っている。		
事 業 費	0千円		
課 題 等	<p>【成果】 関係団体に指導者やリーダーの養成に繋がる各種研修会及び講習会の情報提供を行い、学習機会に関する意識付けに繋がった。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 団体の実態に沿った指導者養成事業の展開が必要である。 ・ 少年団によっては、指導者の後継者が少ないので、資格取得への取組が必要である。 ・ 参加奨励にとどまり、指導者発掘や養成に繋がっていない。 		
評 価	担当	C	外部 C
委 員 か ら の 質 問 ・ 意 見 等	<p>【質問】 町内で指導者養成は可能なのか。</p> <p>【回答】 部活動はほぼ学校の先生が指導している。今後、部活動に係る地域移行について検討していく。部活動の指導については、地域の方にお問い合わせするのか、「らいず」で対応するのか、今後、検討・協議が必要である。</p>		

施 策 事 業 名	スポーツ相談事業			
所 管	社会体育			
事業目的・概要	各地域におけるスポーツ・レクリエーション活動を活発化させるとともに、自主活動の促進を図る。			
実 施 内 容	<p>【指定管理者委託事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノルディックウォーキング講習会の実施 令和3年11月3日（水） 参加者 5名 ・高齢者COTを中心とした高齢者スポーツ出前教室 コロナ禍の影響により中止。 			
事 業 費	0千円			
課 題 等	<p>【成果】 コロナ禍でありながらも事業を開催したことにより、町民のスポーツ習慣維持の機会提供となった。</p> <p>【課題】 町民体育館などの社会体育現場での経験が無い職員が、今後相談窓口となりえる環境のため、総合型地域スポーツクラブ「らいず」との連携や協力は必須である。</p>			
評 価	担当	C	外部	C
委員からの質問・意見等	<p>【質問①】「C評価」とした理由について確認したい。</p> <p>【回答①】委託した事業について、1つの事業しか実施できていない。また、高齢者出前事業については、コロナの影響及び年齢的なことも配慮し、全て中止とした。</p> <p>【質問②】レクリエーション活動を活発にさせるため、どのような取組みを実施しているのか。</p> <p>【回答②】各町内会の高齢者に対し、健康づくりに繋がる教室を実施する予定だったが、コロナ禍の影響により実施できなかった。</p>			

施 策 事 業 名	子どもの体力向上事業			
所 管	社会体育			
事 業 目 的 ・ 概 要	運動習慣及び望ましい生活習慣・食生活の育成を図るため、児童生徒の体力・運動能力の向上を推進する。			
実 施 内 容	<p>【羅臼SCらいず自主事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・らいずキッズクラブ「とことこ」 <p>小学校1～2年生を対象に実施し、その後の少年団活動につなげる取組を実施。</p>			
事 業 費	0千円			
課 題 等	<p>【成果】</p> <p>らいず事業「とことこ」におけるCOTの継続した取り組みによる体力向上が図られた。</p> <p>【課題】</p> <p>スポーツの苦手意識を克服する、スポーツへの親しみを深める点ではCOTは効果的だが、体力向上に直結しているとは現状では言い難い状況である。そのため、測定方法の見直しや、現状に合った課題設定をしたうえで、当町の子ども達にどのような取り組みが必要か、改めて検討が必要である。</p>			
評 価	担 当	B	外 部	B

施 策 事 業 名	各種補助事業 各種教育団体派遣助成事業		
所 管	社会体育		
事業目的・概要	各種スポーツ団体がより活発な自主活動を展開するための経費を補助する。		
実 施 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会教育関係団体活動費 羅臼町スポーツ協会 250千円 羅臼町スポーツ少年団本部 220千円 羅臼町中学校体育連盟 150千円 ・ 大会派遣費補助 8件申請 1,083千円 ・ 根室管内スポーツ交歓大会補助 コロナ禍の影響により中止のため未執行 ・ クナシリ眺望駅伝競走大会補助 コロナ禍の影響により中止のため未執行 		
事 業 費	2,570千円		
課 題 等	<p>【成果】 団体への補助を概ね計画通り支出し、団体活動への支援とした。</p> <p>【課題】 団体の実情に応じた自主・自立を目指した活動支援となるような適正な補助金額の精査。</p>		
評 価	担当	B	外部 B

施 策 事 業 名	学校開放事業		
所 管	社会体育		
事業目的・概要	住民の生涯学習活動を推進するため、学校施設を開放し、学習の場として提供するための条件整備を図る。		
実 施 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校の開放に向けた運営委員会の開催 知床未来中学校 令和3年4月5日 3団体 6名参加 春松小学校 令和3年4月6日 7団体 12名参加 羅臼小学校 令和3年4月7日 10団体 16名参加 ・各学校の利用状況 知床未来中学校 利用人数：501人（前年対比△86%） 開放日数：26日（前年対比△90%） 春松小学校 利用人数：1704人(前年対比△41%) 開放日数：84日(前年対比△68%) 羅臼小学校 利用人数：2755人(前年対比△55%) 開放日数：143日(前年対比△43%) 		
事 業 費	84千円		
課 題 等	【成果】 自主運営自主管理の運営委員会としての意識を持ちながら各団体施設の管理運営に努めている。 【課題】 令和2年度末に知床未来中の家庭教室を学校開放箇所として、令和4年度より、利用に向けて学校と調整を図るとしていたが、調整できていない。		
評 価	担当	B	外部 B
委員からの質問・意見等	【質問】利用団体からの要望等あるのか。 【回答】何かを設置してほしい等の要望はない。利用に対しての調整については、運営協議会で行っている。		

4 図書館

【文化・芸術の振興】

施 策 事 業 名	ブックスタート事業		
所 管	図書館		
事業目的・概要	絵本を仲立ちに、赤ちゃんと保護者が温かく楽しい時間を過ごし、親子の絆を深めてもらうきっかけづくりを行う。		
実 施 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ハッピー手づくり絵本教室（手作り絵本製作指導） 参加者：令和3年6月 中止、令和3年11月11日 4名、 令和4年1月13日 6名 計10名（令和2年度4回で計11名） ・ブックスタート（乳幼児相談時に実施） 参加者：令和3年6月29日 5組、令和3年10月1日 6組、 令和3年12月13日 3組、令和4年3月15日 4組 ・BM巡回と読み聞かせ（月1回の子育て支援センター「ありんこ」読み聞かせ） 実施月 令和3年4月・令和3年7月・令和3年10月～令和4年3月 計7回（令和2年度 計5回） 		
事 業 費	110千円		
課 題 等	<p>【成果】 絵本作りについては、ありんこでの声かけや口コミなどの効果により定員5名を超える参加もあり、親子の絆を深めてもらうきっかけを提供できた。</p> <p>【課題】 子育て支援センターでのBM巡回と読み聞かせは、新型コロナウイルス感染症対策のため中止となった月があった。</p>		
評 価	担当	B	外部 B
委員からの質問・意見等	<p>【質問】「B評価」となった理由は何か。コロナ禍で中止となった事業があったのが原因か。</p> <p>【回答】5月～8月については、コロナ禍の影響により実施でなかった。目的は概ね達成できたいと評価し、「B評価」とした。</p>		

施 策 事 業 名	本との出会い講座・講演会		
所 管	図書館		
事業目的・概要	親子の絆を深める家庭での読み聞かせを普及するため、絵本について学ぶ機会をつくる。		
実 施 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・夫婦ユニットオマチマンによる講演会 開催場所：羅臼幼稚園（令和3年11月8日） 春松幼稚園（令和3年11月9日） ※コロナ禍の影響により、1園ごとの開催とした。 		
事 業 費	98千円		
課 題 等	<p>【成果】 両幼稚園の園児たちは楽しそうに参加していた。また、芸術文化を鑑賞する良い機会となり園児の表現力や感性へのいい刺激となった。</p> <p>【課題】 開催にあたっては新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、参加者を幼児と先生に限定したため、家庭での読み聞かせの普及につなげることは難しかった。</p>		
評 価	担当	B	外部 B
委員からの質問・意見等	<p>【質問①】開催した講演会の内容を確認したい。</p> <p>【回答①】音楽を流し、園児と交流を図りながら、読み聞かせを行う。</p> <p>【質問②】参加した園児及び先生方の反応はについて確認したい。</p> <p>【回答②】楽しいそうに参加してた様子が伺えた。</p>		

施 策 事 業 名	図書館バス巡回事業			
所 管	図書館			
事 業 目 的 ・ 概 要	学校や幼稚園等の施設及び、子育て世帯や高齢者など図書館から離れた地区に住む住民へ図書館サービスを提供し、読書に親しむ環境づくりを進める。			
実 施 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・巡回場所 22か所 小学校・幼稚園 月2回 中学校・高齢者福祉施設・子育て支援センター 月1回 ・利用状況 4,754冊 内児童書4,048冊 前年度比 754冊増 // 867冊増 <p>※新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、臨時休館期間である令和3年5月12日から令和3年6月20日、令和3年8月20日から令和3年9月30日は巡回を中止し、それ以外の期間の運行となった。</p>			
事 業 費	166千円			
課 題 等	<p>【成果】 オススメの本棚を入口に設置し、巡回先の希望に沿った貸出ができた。</p> <p>【課題】 子育て世代への移動図書館バスの周知・利用促進のための周知が少し不足していた。</p>			
評 価	担当	B	外部	B
委 員 か ら の 質 問 ・ 意 見 等	<p>【質問①】 利用状況は増えているのか。</p> <p>【回答①】 利用は増加している。</p> <p>【意見】 読書に親しむ環境づくりを進めたことにより冊数が増加している。また、巡回先の要望に沿った貸し出しを行ったことにより成果は表れている。</p>			

施 策 事 業 名	図書館バス利用ガイダンス			
所 管	図書館			
事業目的・概要	町内の子ども達に、公共施設を適切に利用する習慣や社会性を身につけてもらうため、利用指導を行う。			
実 施 内 容	<p>各幼稚園・小学校（1年生）対象に実施。バスの利用方法・本の扱い方・借り方・返し方を指導。お楽しみとして読み聞かせ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春松小学校 令和3年5月12日 9名 ・羅臼小学校 令和3年7月8日 22名 ・春松幼稚園 令和3年4月22日 15名（年少） ・羅臼幼稚園 令和3年4月20日 14名（年少） 			
事 業 費	0千円			
課 題 等	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各幼稚園では、ほとんどの年少幼児が先生の手助けなしに借りられるようになった。 ・各小学校でも幼稚園との利用の仕方の差を理解し、自分で借りられる冊数を把握できるようになっているなど、適切な利用に結びついている。 <p>【課題】</p> <p>学校の図書室と貸出冊数や期間を混同して覚えている児童が見られるため、より正しく覚えてもらう工夫が必要。</p>			
評 価	担当	B	外部	B

施 策 事 業 名	第19回らうす古本市		
所 管	図書館		
事業目的・概要	限られた資源を有効活用するために、不要になった本や雑誌を町民に還元することにより再活用してもらい、この活動を通して図書館活動への関心をもってもらおう。		
実 施 内 容	<p>「町民還元らうすミニ古本市」として、図書室解体に伴い除籍した本や町民の方から寄贈いただいた本を町民に無料で還元するかたちで実施。会場内に常に300冊の本があるよう設置し自由に持ち帰ってもらった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場：図書館ロビー ・日時：3月28日～4月22日 ・来館者数：282名 ・還元冊数：約290冊 		
事 業 費	0千円		
課 題 等	<p>【成果】 普段はあまり来館されない方の来館があった。また、古本市を行ったことにより通常より多い来館者があった（1日2名増加）。還元されたものは随時補充し、常時300冊の本を設置し自由に持ち帰ってもらった。</p> <p>【課題】 周知不足により、終了後の問い合わせが何件かあった。また、遠隔地住民からは来館しづらい等の声もあり、周知方法や開催方法の工夫が必要。</p>		
評 価	担当	B	外部 B
委員からの質問・意見等	【意見】300冊のうち290冊還元され、成果は表れている。		

施策事業名	読み聞かせ連携支援			
所管	図書館			
事業目的・概要	本の紹介や読み聞かせを行い、読書の動機付けを図る。また、司書との交流を図り図書館に親しみを持ってもらう。			
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・羅臼幼稚園 こぐまちゃんサークル（今年度は中止） ・春松小学校 1・2年生 年間5回ぐりとぐらのえほんぽけっと 3～6年生 年間12回 司書・学校司書 ・羅臼小学校 1～6年生 年間（5～12月実施）15回 こぐまちゃんサークル、司書 1・2年生 学校からの要望で上記に加えて4回実施 			
事業費	0千円			
課題等	<p>【成果】 回数は減ったものの読み聞かせや本の紹介を通して、子どもたちに図書館への親しみを持ってもらうことができた。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響で中止となることがあり、予定よりも回数が減ってしまった。 ・図書館や司書との関わりや新たな本との出会い機会の更なる模索が必要だった。 			
評価	担当	B	外部	B

施策事業名	図書館のひみつ学習			
所管	図書館			
事業目的・概要	図書館の仕事について知ってもらい、適切に利用できるよう援助する。また、本を紹介し読書の動機付けを図る。			
実施内容	<p>図書館の機能、司書の仕事、分類、図書館利用案内、ブックトークの実施。各学校を訪問し、説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春松小3年生 令和3年7月12日 15名 ・羅臼小3年生 令和3年7月15日 23名 			
事業費	0千円			
課題等	<p>【成果】 アンケート調査では「図書館の仕事を理解できた」や「今後、図書館を利用してみたいと思う」などの感想がよせられ、図書館の仕事やサービスについて、児童の理解を深められた。</p> <p>【課題】 実施時期について、コロナ禍の影響により休館等で授業単元とからめた実施ができなかった。</p>			
評価	担当	B	外部	B

施 策 事 業 名	図書館相談事業		
所 管	図書館		
事業目的・概要	学校等の読書相談に応じ、市民の調べものや相談にきめ細かく対応しながら生涯学習の推進を図る。		
実 施 内 容	<p>①学校連携支援（実施事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語科「図書館へ行こう」 羅小・春小2年生来館受け入れ ・教科書関連図書のセット貸出 未実施事業 ・高校生インターンシップ <p>②通常サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体貸出 3,714冊 ・予約・リクエスト 206件 ・調査件数 7件 ・利用相談 238件 ・相互貸借 借受 439冊、貸出 1冊 <p>③図書宅配サービス</p> <p>全市民にむけて提供している。今年度はコロナ禍の影響により臨時休館中の申込にとどまった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年5月15日～令和3年6月20日 81冊 ・令和3年8月20日～令和3年9月30日 85冊 		
事 業 費	0千円		
課 題 等	<p>【成果】</p> <p>道立図書館等を活用しながら、学校等の読書相談に応じることができた。</p> <p>【課題】</p> <p>現在の新しい生活様式に合わせた市民の調べものや相談に対応するためにも図書宅配サービスを通常サービスに盛り込んだが、あまり定着しておらず更なる周知が必要。</p>		
評 価	担当	B	外部 B

施 策 事 業 名	羅臼町子どもの読書活動推進計画			
所 管	図書館			
事業目的・概要	地域全体が包括的に子どもの読書活動に関する価値観を共有し、子どもが読書に親しみながら成長するよう環境整備を図るために策定する。			
実 施 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・計画年度 第1期 2018～2020年度 3か年 第2期 2021～2024年度 4か年 			
事 業 費	0千円			
課 題 等	<p>【成果】</p> <p>第1期計画の課題の1つとしてあがっていた「家庭での読書習慣の定着」について、図書館バス利用ガイダンス事業内で特製バックを配付し、その推進を図ることができた。</p> <p>【課題】</p> <p>読み聞かせ以外の本との出会いの機会提供を学校司書と連携してすすめる必要がある。</p>			
評 価	担当	B	外部	B

施 策 事 業 名	資料整備事業			
所 管	図書館			
事業目的・概要	町民一人一人の資料要求にきめ細かく対応し、個人学習を支援する。			
実 施 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育に必要な資料、高齢化に伴う大活字本の整備、社会情勢や教育に関する本や町民の生活課題に役立つ本、青少年の読書意欲を高める本、赤ちゃん絵本や子育てに関する本の充実、整備 ・視聴覚資料の整備。 ・蔵書の新鮮化のために、価値を見極めながら除籍を行う。 ・学習支援の方法として、予約・リクエストサービスの充実、道内の図書館相互貸借の利用 借受439冊（うち町民用借受 46冊） <p>※令和2年度 20冊 貸出1冊</p>			
事 業 費	1,637千円			
課 題 等	<p>【成果】</p> <p>町民一人一人の要求に応えられるよう、視聴覚資料を購入し貸出できるよう整備した。</p> <p>【課題】</p> <p>修理の難しい破損本のための除籍となり、蔵書の古い情報の更新がなされていない。資料の充実・除籍・延滞等の整備のための基準を定め、それに則った管理や蔵書点検を行う必要がある。</p>			
評 価	担当	B	外部	B

施策事業名	蔵書検索システムの継続・オンラインシステムを活用した情報発信			
所管	図書館			
事業目的・概要	市民の利便性を保持するため、資料整備及び蔵書検索機能の継続と充実を図る。			
実施内容	<p>①図書館</p> <ul style="list-style-type: none"> 蔵書検索システムの利用促進 図書館HP(蔵書検索ページ)の新たなコンテンツ「今日の1冊」を活用して図書館の情報発信をする <p>②学校図書館</p> <ul style="list-style-type: none"> 春松小学校 貸出実績：1,642冊（R2年度 2,840冊） 学校図書横断システムの運用 羅臼小学校 貸出実績：730冊 システム使用による貸出・返却の開始 知床未来中学校 貸出実績：379冊（3年生分除く） 学校図書横断システムの運用 			
事業費	1,189千円			
課題等	<p>【成果】</p> <p>令和3年度から羅小・未来中においても図書館と連携した蔵書管理システムでの本の貸出が開始でき、より充実した学校図書館での資料活用につながった。</p> <p>【課題】</p> <p>春松小の貸出実績は、前年度よりも減っており今後さらなる連携支援が必要である。</p> <p>「今日の1冊」による継続的な情報更新を実施できているものの、それが貸出実績につながっているかどうかの現状把握がなされていない。</p> <p>全ての教員が蔵書検索システムを活用できるような利用方法の周知が必要である。</p>			
評価	担当	B	外部	B
委員からの質問・意見等	<p>【質問】充実した内容となっており、また、利用実績も増加している。「A評価」とならない理由について確認したい。</p> <p>【回答】秋に運用開始となり、導入が若干遅れたことから、「B評価」とした。</p>			

施 策 事 業 名	読み聞かせサークルの支援		
所 管	図書館		
事 業 目 的 ・ 概 要	読書活動に携わる既存団体を応援し、活動内容の魅力を高める。		
実 施 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ぐりとぐらのえほんぽけっと（春松地区担当）、こぐまちゃんサークル（羅臼地区担当）との連携と支援 ・家庭教育ナビゲーター研修会（年2回）などの研修機会の提供やサークルごとのミーティングに図書館職員も参加するなど交流の場を設ける 		
事 業 費	0千円		
課 題 等	<p>【成果】 職員がサークルのミーティングに参加し、意見を交換したり情報を共有するなどの交流を行うことができた。</p> <p>【課題】 活動をより魅力的なものとし、既存団体がより意欲的に活動するための知識を得たり、経験ができるような機会の提供ができず、連携が不十分だった。</p>		
評 価	担当	C	外部 C

5 郷土資料館

【文化財の保護及び活用推進】

施 策 事 業 名	諸会議		
所 管	郷土資料館		
事 業 目 的 ・ 概 要	<ul style="list-style-type: none"> 文化財保護の観点から、その保存及び活用、各種事務運営の促進を図り、地域に根ざした推進方策を考える。 文化財保護調査委員会の開催及び北方領土専門家交流事業への協力。 		
実 施 内 容	<ul style="list-style-type: none"> 文化財保護調査委員会議 <ol style="list-style-type: none"> 第1回 令和3年7月15日 委員6名出席 第2回 令和3年11月12日 委員6名出席 第3回 令和3年1月 コロナ禍のため中止 第4回 令和4年3月4日 委員6名出席 北方領土専門家交流事業への協力 <ol style="list-style-type: none"> 国後島での考古学調査 中止 青森県資料調査 令和3年12月7日～10日 和歌山県資料調査 中止 北方四島歴史研究会 報告発表 令和4年2月20日 会場：根室市 		
事 業 費	76千円		
課 題 等	<p>【成果】 教育委員会より文化財保護調査委員へサクライラウスシロカサゴ化石の町指定文化財について諮問しており、同委員会で活発に審議が図られた。この審議では当該文化財の指定価値にとどまらず、活用方法も含め答申がなされており、新たな文化財指定に繋がった。</p> <p>【課題】 今後も、文化財保護の観点からの保存・活用方法の継続した検討が必要である。</p>		
評 価	担当	B	外部 B
委 員 か ら の 質 問 ・ 意 見 等	<p>【質問】文化財保護調査委員会で働き掛けを行ったことから、サクライラウスシロカサギ化石が町指定文化財になったのではないかと。</p> <p>【回答】昨年4月に報道発表された。報道を受け、文化財保護委員会から協議の打診があり、協議を重ねた。</p>		

施 策 事 業 名	国指定天然記念物保護事業			
所 管	郷土資料館			
事 業 目 的 ・ 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国指定天然記念物の保護と生態、生育環境の調査、一斉調査行なう。 ・ 指定鳥類保護監視員による通常監視、町内ワシ類の一斉調査及び営巣調査。 			
実 施 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ オジロワシ長期モニタリング調査協力 <ul style="list-style-type: none"> 1) 5名の調査員が担当巣をモニタリング 2) 令和3年12月20日集計会議 資料館 ・ 町内オジロ・オオワシー斉調査（令和4年2月19日）469羽 ・ 監視員5名による天然記念物の通常監視 令和3年12～令和4年3月 			
事 業 費	291千円			
課 題 等	<p>【成果】 オジロワシモニタリング調査等は効率的な調査方法について改善を進めてきており、同じグループ内で巣立ち判断時期について統一されることとなった。</p> <p>【課題】 今後も継続した調査が必要である。</p>			
評 価	担当	B	外部	B

施 策 事 業 名	国指定重要文化財保護事業			
所 管	郷土資料館			
事業目的・概要	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度に国の重要文化財に指定された「北海道松法川北岸遺跡出土品」を、確実に後世へ残すよう適切に保存・管理を行ないつつ、活用も図る。 地域文化財個別活用計画作成の検討及び指定品の防火防犯対策を図る。 			
実 施 内 容	<ul style="list-style-type: none"> 指定品のレプリカ貸出による活用 標津町 令和3年6月14日～7月2日 別海町 令和3年9月1日～16日 横浜ユーラシア文化館 令和3年10月16日～12月26日 大阪府近つ飛鳥博物館 令和4年1月15日～3月13日 地域文化財個別活用計画作成 			
事 業 費	0千円			
課 題 等	<p>【成果】 レプリカによる活用も図れている。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 北海道文化財保存活用大綱が策定されたことから、個別文化財活用保存計画の策定が必要である。しかし、現在美術工芸品に対する同計画策定を行っている市町村は全国になく、その難しさから着手できていない。 レプリカによる活用については、種類や数に限りがあり、対応しにくい面もある。 			
評 価	担当	B	外部	B
委員からの質問・意見等	<p>【質問①】「C評価」としたのは、個別計画を策定していないことが要因か。</p> <p>【回答①】個別文化財の活用保存計画を策定した場合、補助対象となりメリットはある。技術工芸品に係る個別計画を策定している自治体がなく、策定は困難な状況である。</p> <p>【質問②】防災対策の内容は。</p> <p>【回答②】施設に係るガイドラインが示された。ガイドラインに基づき点検している。</p> <p>【質問③】適正に管理されており、活用は図られているのではないか。</p> <p>【回答③】中期計画において、令和3年度個別計画の素案を作成するとされている。中期計画改正時に今後の方向性を検討したい。</p> <p>【意見】個別計画は全国的に策定されていない状況にあり、策定困難なのは理解できる。担当評価は、「C評価」といっているが、レプリカの活用等図り、事業効果も充分得られていることから、事業の目的は概ね達成できると判断し、外部評価委員会の意見として、担当評価を「B評価」に修正することとする。</p>			

施 策 事 業 名	道指定天然記念物保護事業			
所 管	郷土資料館			
事業目的・概要	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道指定天然記念物「羅臼のひかりごけ」、「羅臼の間歇泉」の調査し保護を図る。 ・北海道指定天然記念物「羅臼のひかりごけ」、「羅臼の間歇泉」のモニタリング調査及び活用。 			
実 施 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・「羅臼のひかりごけ」 <ol style="list-style-type: none"> 1) 資料館内での展示及び普及活動（通年） 2) 屋外ヒカリゴケ観察所の運営 令和3年5月～10月 ・羅臼の間歇泉 <ol style="list-style-type: none"> 噴湯調査（4回） 			
事 業 費	0千円			
課 題 等	<p>【成果】</p> <p>屋外ヒカリゴケ観察所でのヒカリゴケの分布範囲が小規模であったことから改善を図り、分布範囲が著しく拡大した。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ対策に係る休館期間と重なったため十分な周知を図ることができなかった。 ・分布範囲は拡大したが、今後もモニタリングを続けるとともに、施設の在り方についても検討が必要である。 			
評 価	担当	B	外部	B

施 策 事 業 名	町指定文化財保護事業			
所 管	郷土資料館			
事業目的・概要	史跡2件（旧植別神社跡、久右衛門の濶跡）、無形文化財1件（知床いぶき樽）、有形文化財1件（弘化の釣り鐘）の保護を図る。			
実 施 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財パトロール 令和3年7月2日 ・旧植別神社跡の草刈り 令和3年7月 ・知床いぶき樽保存会への協力 			
事 業 費	0千円			
課 題 等	<p>【成果】</p> <p>知床いぶき樽については無形文化財としての保護を図るため、資料の寄託を受け、台帳の作成や整理等が終了した。また、資料の活用についても常設展示を図ることで方向性が決定した。</p> <p>【課題】</p> <p>今後も、保存・活用についての継続した検討が必要である。</p>			
評 価	担当	B	外部	B

施 策 事 業 名	埋蔵文化財保護事業			
所 管	郷土資料館			
事業目的・概要	遺跡の保護・保存を図ると共に、事前協議が必要なものに関しては調査を実施する。発掘調査が必要なものは、発掘を実施し、記録として保存する。			
実 施 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財事前協議の実施（随時） <ul style="list-style-type: none"> 1) 埋蔵文化財事前協議①（北海道農業公社）A調査、 工事立会（令和3年5～7月） 2) 埋蔵文化財事前協議②（根室振興局）A調査（令和3年7～8月） 3) 埋蔵文化財事前協議③（丸米水産）A調査（令和3年8月） 工事立会は令和4年度 ・モイレウシ川南岸遺跡一般分布調査 令和3年8月中止 ・麻布町タッカリウス川南岸遺跡詳細分布調査 中止 ・峯浜チャシ遊歩道の維持 			
事 業 費	0千円			
課 題 等	<p>【成果】 事前協議に伴う各種調査の結果、峯浜西川遺跡の範囲拡大、峯浜中谷遺跡の所在地を修正し、周知資料の再整備を図るなど、埋蔵文化財包蔵地カードの更新を行っている。</p> <p>【課題】 モイレウシ川南岸遺跡、タッカリウス南岸遺跡については自然崩壊の影響もしくは詳細内容確認調査のため、継続した調査が必要である。</p>			
評 価	担当	B	外部	B
委員からの質問・意見等	<p>【質問】 調査費用の負担は。</p> <p>【回答】 遺跡の範囲を確定させる調査については、市町村の負担。開発に係る費用については、事業者の負担となる。</p>			

施 策 事 業 名	郷土資料館運営事業			
所 管	郷土資料館			
事業目的・概要	自然や歴史的文化財を多く残す羅臼町において、それらに間近に接し郷土への認識を深める。			
実 施 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・日常管理 来館者数 870人 ・学校事業での活用等、施設の有効活用 <ul style="list-style-type: none"> 1) 小学校1件施設利用 2) 羅臼高校知床学概論Ⅱ授業(7回) ・新型コロナウイルス感染症に係る防止対策 ・資料の整備・保管 ・知床いぶき樽資料整理台帳作成 6,650点 ・日本遺産推進 周知資料作成 			
事 業 費	6,519千円			
課 題 等	<p>【成果】 羅臼高校での活用が新たにあり、学校での活用が広がった。</p> <p>【課題】 資料館全体としてもコロナ禍の影響により、来館者減少は仕方ない部分もあるが、今後周知の在り方や運営方法について検討が必要である。</p>			
評 価	担当	B	外部	B
委員からの質問・意見等	<p>【質問】今後検討が必要なことは、学校等の利用か。</p> <p>【回答】郷土資料館のPR方法に検討が必要である。</p>			

施 策 事 業 名	郷土資料館管理事業			
所 管	郷土資料館			
事業目的・概要	展示保管環境の整備を図るとともに、利用しやすい施設に向けた施設整備を図る。			
実 施 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な改修を図る ・施設の防火防犯対策、防火水槽修理 			
事 業 費	1,957千円			
課 題 等	<p>【成果】 大規模な改修は計画的に実施できている。緊急的な大型の修繕も発生したが、対応できている。</p> <p>【課題】 設備に関しては、老朽化を目視で確認できないものがあり、今後も突発的な修繕に対応する必要がある。</p>			
評 価	担当	B	外部	B

施策事業名	社会教育事業との連携			
所管	郷土資料館			
事業目的・概要	各種事業と連携し、実物や自然に直接触れることを核とした、ふるさと教育を実施する。			
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと少年体験教室（知床KIDS）連携プログラム <ul style="list-style-type: none"> 1) 第3回土器づくり 令和3年11月6日 2) 第6回幌萌スノーシュートレッキング 令和4年2月23日 中止 ・こまぐさ学級連携プログラム 令和3年8月24日 中止 ・ふるさと少年探検隊との連携プログラム（発掘調査事業） 中止 			
事業費	0千円			
課題等	<p>【成果】 1事業のみであるが、連携した事業を実施できている。</p> <p>【課題】 コロナ禍の影響により実施できなかった事業が多かった。事業目的を維持しつつ、コロナ対策を図る必要がある。今後も連携して、事業を進める必要がある。</p>			
評価	担当	C	外部	C
委員からの質問・意見等	<p>【質問】知床Kids（土器作り）の成果は。</p> <p>【回答】実施回数は予定より少なかったが、参加した子ども達は一生懸命土器作りを体験していた。</p>			

施策事業名	体験活動プログラム推進事業			
所管	郷土資料館			
事業目的・概要	ふるさと教育推進のための、魅力あるプログラムの充実と、その活用を推進する。			
実施内容	体験活動プログラムの配布 町内幼少中学校へ4月配布			
事業費	0千円			
課題等	<p>【成果】 新たな高齢者プログラムや、体験プログラムが作成できている。</p> <p>【課題】 事業中止のため実施できていない。</p>			
評価	担当	C	外部	C

施 策 事 業 名	ふるさと体験学習講座			
所 管	郷土資料館			
事業目的・概要	郷土の歴史や文化、自然に親しむ講座や企画展を開催し、その理解を深める。			
実 施 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと体験講座 <ul style="list-style-type: none"> 1) 第1回化石発見！幌萌海岸化石採集体験 令和3年7月10日 23名 2) 第2回羅臼の石ころ拾いと石みがき ～石から判る知床半島の成り立ち～ 令和3年10月16日 12名 3) 第3回知床古代の村体験発掘 中止 4) 第4回オホーツク人の世界（WEB開催）令和4年1月21日 10名 ・羅臼高校知床学概論Ⅱ授業 7回 ・根室管内高等学校教育研究会 地理歴史・公民科部会研修会 令和3年10月12日 ・管内高等学校校長研究会 オホーツク文化からトビニタイ文化へ 令和3年6月25日 ・日本遺産パネル展 令和3年11月12日～26日 ・郷土資料館巡回展 羅臼のひかりごけ 羅臼ビジターセンター 令和3年4月27日～6月28日 			
事 業 費	30千円			
課 題 等	<p>【成果】 実施できた事業については事業の目的に沿うものであり、子どもの自由研究に繋がったなどの意見も得ることができている。</p> <p>【課題】 実物を見る、触れるといった体験活動に主眼を置き、事業を計画している。コロナ禍により、実施の延期が繰り返えされ、当初予定していた事業を実施できていない部分がある。</p>			
評 価	担当	B	外部	B
委 員 か ら の 質 問 ・ 意 見 等	<p>【質問①】 参加したのは、町内の子どもたちか。</p> <p>【回答①】 町内のみ周知し、参加者は町内の子どもや親子である。</p> <p>【質問②】 羅臼町の魅力を発信するには、効果的な事業である。</p> <p>【回答②】 実物に触れることが重要である。</p> <p>【意見】 郷土資料館事業については、各学校の参加が少なく感じる。 今後各学校との関わりを強化すべきではないか。また、地元の子どもたちは、地元にある博物館に足を運んでいただきたい。学校においても有益な事業となると思われる。</p>			

学校教育に係わるその他の取組み

(1) 主な調査

調査月	調査名	担当課
令和3年4月	標準学力調査（小学校）	学務課
令和3年4月	標準学力調査（中学校）	学務課
令和3年4月～6月	小中学校第1回i-check実施	学務課
令和3年11月	小中学校第2回i-check実施	学務課

(2) いじめ・不登校への取組み

令和3年度のいじめについての報告は、羅臼小学校44件、春松小学校18件、知床未来中学校20件でした。

不登校については、羅臼小学校は3・4・5年生で5名、春松小学校は6年生で1名、知床未来中学校1～3年生で11名が不登校傾向にありましたが、家庭と連絡をとりながら学習をサポートしました。

(3) 教育委員会が行った主な教職員の研修等

研修会名	開催月日等	講師等
道研地域連携研修会	令和3年7月20日 「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」 「IOT機器を活用した授業改善」	講師：北海道立教育研究所 主任研究研修主事：米谷 広美 研究研修主事：三谷 玖未
羅臼町幼稚園管理職&リーダー研修会	令和3年10月6日 「幼稚園教育の充実に向けて」	講師：北海道教育庁根室教育局 教育支援課長：小山 彰
羅臼町特別支援教育コーディネーター&こんぱす運用委員研修会	令和3年11月29日 「長期の見通しを持った一貫性のある特別支援教育のあり方」	講師：発達障害者支援道東地域センター センター長：丸山 芳孝

(4) 各種学習支援

事業名	開催月日	講師等
アフタースクール事業	令和3年11月13日・14日	教育大学釧路校

教育関係団体等に対する補助金

(単位：千円)

課名	団体名/補助金名	予算額	決算額
学務課	羅臼町幼小中高一貫教育研究協議会	2,450	2,450
	羅臼町特別支援教育協議会	200	200
社会教育課	羅臼町子ども会育成協議会	200	200
	羅臼町女性団体連絡協議会	100	0
	羅臼町文化協会	450	200
	知床いぶき樽保存会	1,046	1,046
	羅臼町スポーツ協会	250	250
	羅臼町スポーツ少年団本部	220	220
	芸術文化鑑賞事業費補助	1,700	1,700
	20歳学園補助金	500	487
	芸術文化活動奨励事業補助金	100	0
	各種体育団体派遣費助成(8件)	1,500	1,300
	社会教育関係団体派遣費助成金(1件)	500	0

第8章 所管施設の利用状況

【図書館】年度別貸出冊数

(単位：冊)

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度 ・令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
貸出冊数(個人)	15,148	19,275	20,431	15,759	9,351	8,670	9,969
うち児童書	8,457	12,146	13,336	10,960	6,346	5,257	6,350
比 率	55.83	63.01	65.27	69.55	67.86	60.63	63.70
住民一人当たり 個人貸出冊数	2.83	3.59	3.92	3.10	1.95	1.87	2.22

※令和2年4月1日より図書館として役場1階ロビーで開設。

【郷土資料館】年度別利用者数

(単位：人)

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度 ・令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
子ども	535	465	449	422	428	117	83
大人	1,521	1,475	1,287	1,499	1,513	1,134	787
総利用	2,056	1,940	1,736	1,921	1,941	1,251	870

【体育館】年度別利用者数

(単位：人)

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度 ・令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
小学校以下	6,622	6,319	6,506	6,482			5,942
中学校	3,732	4,166	5,408	3,953			3,051
高校生	1,115	1,529	1,160	1,128			1,279
一 般	10,578	10,147	10,675	8,401			9,626
総利用	22,047	22,161	23,748	19,964			19,898

※平成31年3月6日から休館中。令和3年7月1日からリニューアルオープン。

【公民館】年度別利用者数

(利用団体単位：件
利用者 単位：人)

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度 ・令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
利用団体	778	741	961	838			
利用者	12,123	12,655	18,261	13,235			

※平成31年3月6日から休館となり、令和元年12月19日解体

第9章 関係規定

○羅臼町教育事務執行状況の点検及び評価等に関する規程

平成21年3月26日

教育委員会規程第1号

改正 平成27年3月20日教委規程第3号

羅臼町教育事務執行状況の点検及び評価等に関する規程

(趣旨)

第1条 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号。以下「法」という。）第26条第1項の規定に基づき、羅臼町教育委員会（以下「委員会」という。）の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価等に関し必要な事項を定めるものとする。

(委員会の権限に属する事務)

第2条 この規程において、委員会の権限に属する事務とは、法第21条各号に規定された事務をいう。

(点検及び評価)

第3条 委員会は、前条に規定する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を実施するものとする。

2 前項の点検及び評価は、毎年度、前年度の事務の管理及び執行の状況について行うものとする。

3 第1項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するものとする。

(報告書の作成)

第4条 委員会は、前条の点検及び評価の結果に基づき、報告書を作成しなければならない。

2 前項の報告書の様式は、教育長が別に定める。

(議会への提出)

第5条 委員会は、前条の報告書を羅臼町議会に提出するものとする。

(公表)

第6条 報告書は前条の規定に基づく羅臼町議会へ提出後、遅滞なく公表しなければならない。

2 前項の公表は、次の各号に掲げる方法のうち、一以上の方法によって行うものとする。

(1) 羅臼町教育委員会公告式規則（昭和31年教育委員会規則第5号）に規定する掲示場及び公衆の見やすい場所に掲示する方法

(2) 羅臼町広報紙に掲載する方法

(3) インターネットを利用して閲覧に供する方法

(委任)

第7条 この規程に定めるもののほか、必要な事項は教育長が別に定める。

附 則

この規程は、公布の日から施行する。

附 則（平成27年3月20日教委規程第3号）

(施行期日)

この規程は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律（平成26年法律第76号。以下「改正法」という。）の施行の日（平成27年4月1日）から施行する。

○羅臼町教育事務執行状況の点検及び評価等に関する実施要綱

平成21年3月26日
教育委員会訓令第1号

羅臼町教育事務執行状況の点検及び評価等に関する実施要綱

(趣旨)

第1条 羅臼町教育事務執行状況の点検及び評価等に関する規程(平成21年教委規程第1号)第7条の規定に基づき、この実施要綱を定める。

(基本的な方針)

第2条 社会経済情勢の変化や町民ニーズに適切に対応し、教育委員会が策定した計画の着実な推進を図るため、事務の点検及び評価を行い、今後の施策展開の基本的な考え方や方向性などを明らかにするとともに、その結果を公表し町民に対する説明責任を果たすものとする。

(点検及び評価の対象)

第3条 事務の点検及び評価の対象は、次の各号に掲げる事務とする。

- (1) 教育委員会の活動状況
- (2) 教育行政に関わる規則・計画の策定状況
- (3) 教育関係団体に対する指導・助言・援助等の状況
- (4) 町民に対する情報提供の状況
- (5) その他教育委員会が実施する事務全般の状況

(点検及び評価の視点)

第4条 事務の点検況及び評価の視点は、次のとおりとする。

- (1) 教育委員会の活動状況の現状と課題及び今後の取組み方向
- (2) 主要な教育施策及び予算事業の実施状況

(点検及び評価の実施方法)

第5条 事務の点検況及び評価の実施方法は、次の各号に定める方法による。

- (1) 前年度(報告年度の前年)に実施した事務について教育行政評価調書(様式1)により評価を行うものとする。
- (2) 事務の点検況及び評価を行うにあたっては、羅臼町教育委員会外部評価委員会の意見を聴くものとする。
- (3) 教育長は、評価調書を基に、事務の点検況及び評価の結果に関する報告書案を作成し、教育委員会の会議に付議するものとする。

(点検及び評価の結果の反映)

第6条 事務の点検況及び評価の結果については、重点施策の展開、予算編成、組織機構改正、事務事業の見直し等の事務改善など、教育行政のあらゆる分野に反映させるものとする。

附 則

この実施要綱は、公布の日から施行する。

○羅臼町教育委員会外部評価委員会設置要綱

平成21年3月26日
教育委員会訓令第2号

羅臼町教育委員会外部評価委員会設置要綱

(設置)

第1条 羅臼町教育委員会の権限に属する事務の点検及び評価等に関する規程(平成21年教育委員会規程第 号)第3条第3項の規定に基づき、羅臼町教育委員会外部評価委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事務を所掌する。

- (1) 教育委員会が実施した施策又は事業の点検及び評価に関し意見を述べること。
- (2) その他委員会が必要と認める事項

(組織)

第3条 委員会は、委員5人以内で組織する。

- 2 委員は、教育に関し識見を有する者のうちから教育長が委嘱する。
- 3 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。
- 4 委員に欠員が生じた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は、委員の互選によりこれを定め、副委員長は、委員のうちから委員長が指名する。
- 3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、又は委員長が欠けたときはその職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議は委員長が招集し、委員長が会議の議長となる。

- 2 委員会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。
- 3 委員会の会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。
- 4 委員会は、必要があると認めるときは、会議の委員以外の者の出席を求め、その説明又は意見を聞くことができる。
- 5 委員会の会議は原則公開できるものとする。ただし、公開することが相当でないと委員会が認めるときはこの限りでない。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、教育委員会学務課総務管理係において行う。

(委任)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

この要綱は、公布の日から施行する。